

「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の評価と今後に向けて

達成状況

資料編

平成25(2013)年

—

令和5(2023)年



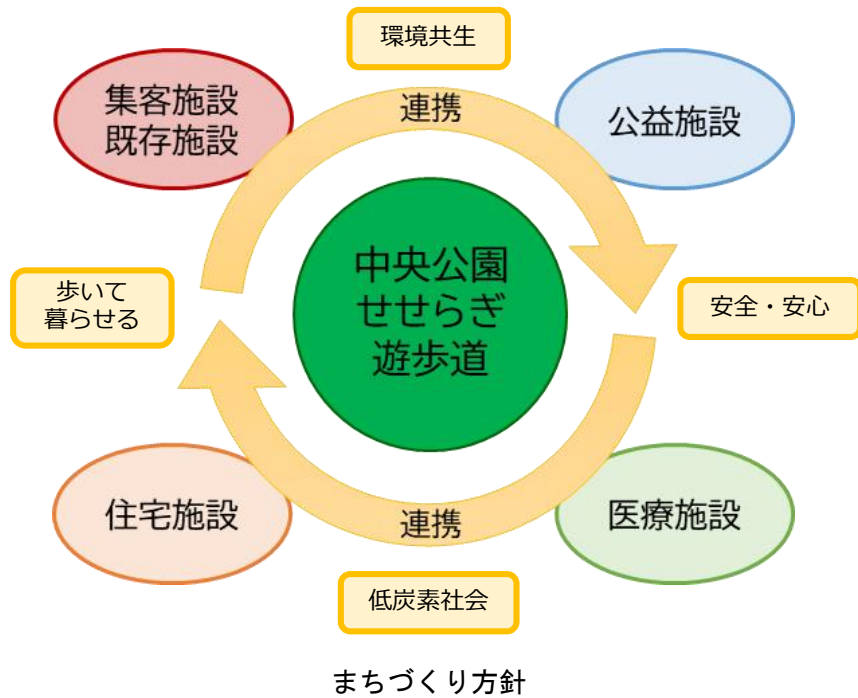
取り組み

達成状況〔詳細〕

評価

1-1 コンパクトなまちへの誘導のため、医療施設、住宅施設の誘致

・「まちづくり方針」には、キセラ川西せせらぎ公園(中央公園)・せせらぎ遊歩道を取り囲むように「**公益施設**」「**医療施設**」「**住宅施設**」「**集客施設**」が配置され、それらが互いに「連携」するイメージを描いた。



〔施設概要〕

医療施設 (川西市立総合医療センター)

- ・「総合医療センター基本構想」を策定(平成31年)
- ・指定管理者制度の導入
- ・敷地面積: 11,250㎡(保留地、川西市都市整備公社用地など)
- ・延床面積: 36,508㎡
- ・階数: 地上9階建て
- ・病床数: 405床
- ・診療科目: 28診療科



住宅施設 (キセラ川西オリヴィエ)

- ・PFIの「付帯業務」で市関連用地を売却するとともに、その用地に民間マンション開発を誘致
- ・マンション自体の付加価値を向上させるために、都市計画(地区計画)によりコントロールし、医療施設(生活利便施設)やオープンスペースの併設を誘導
- ・集約都市開発事業計画の認定



1-1 キセラ川西地区内に集約された施設 (公益施設、医療施設、住宅施設、集客施設)

・現在の土地利用に当てはめると下記のようになり、コンパクトなまちへの誘導がなされ、「まちづくり方針」で目指した『次世代型複合都市』が実現している。
※土地利用 率約9割(令和4年11月末時点)

〔集約された施設 (令和4年11月末時点)〕

公益施設

- ・低炭素型複合施設(キセラ川西プラザ(公民館や文化ホールなどを併設))
- ・消防署(川西市消防本部・南消防署)
- ・交番(日の出交番)
- ・体育館(川西市総合体育館)[既存]
- ・保育施設 6件(ちびっこ保育園キセラなど)[既存含む]

医療施設

- ・病院(川西市立総合医療センター)
- ・診療所(オアシスタウンキセラ川西内 メディカルゾーンなど)
- ・福祉施設 3件(介護付き有料老人ホーム ウェルハウスキセラ川西など)
- ・低炭素型複合施設(キセラ川西プラザ(こども・若者ステーションや予防歯科センターなどを併設))

住宅施設

- ・新築共同住宅 合計587戸(キセラ川西オリヴィエ 202戸など)[建設中含む]

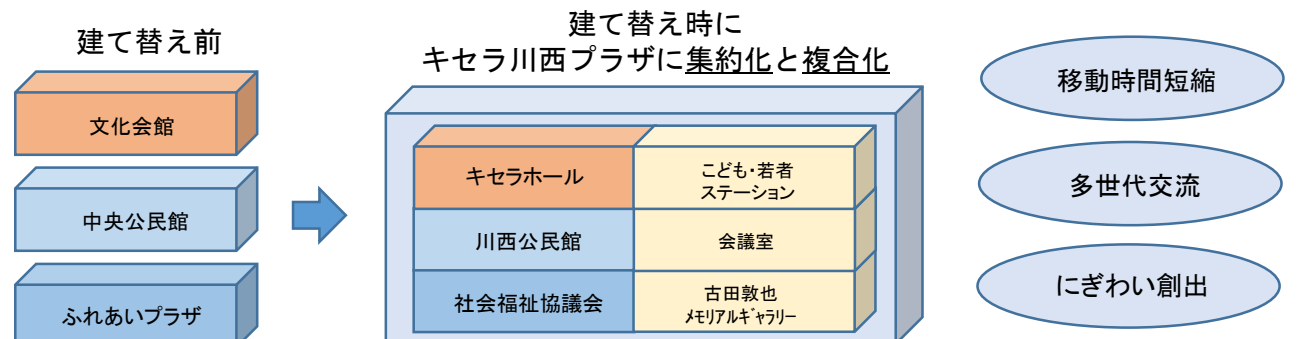
集客施設

- ・新築店舗 約15件(オアシスタウンキセラ川西など)
- ・低炭素型複合施設(キセラ川西プラザ(キセラホール 1,000席))



地区の状況 (令和2年)

〔公共施設の集約化と複合化(キセラ川西プラザ)〕



取り組み

達成状況[詳細]

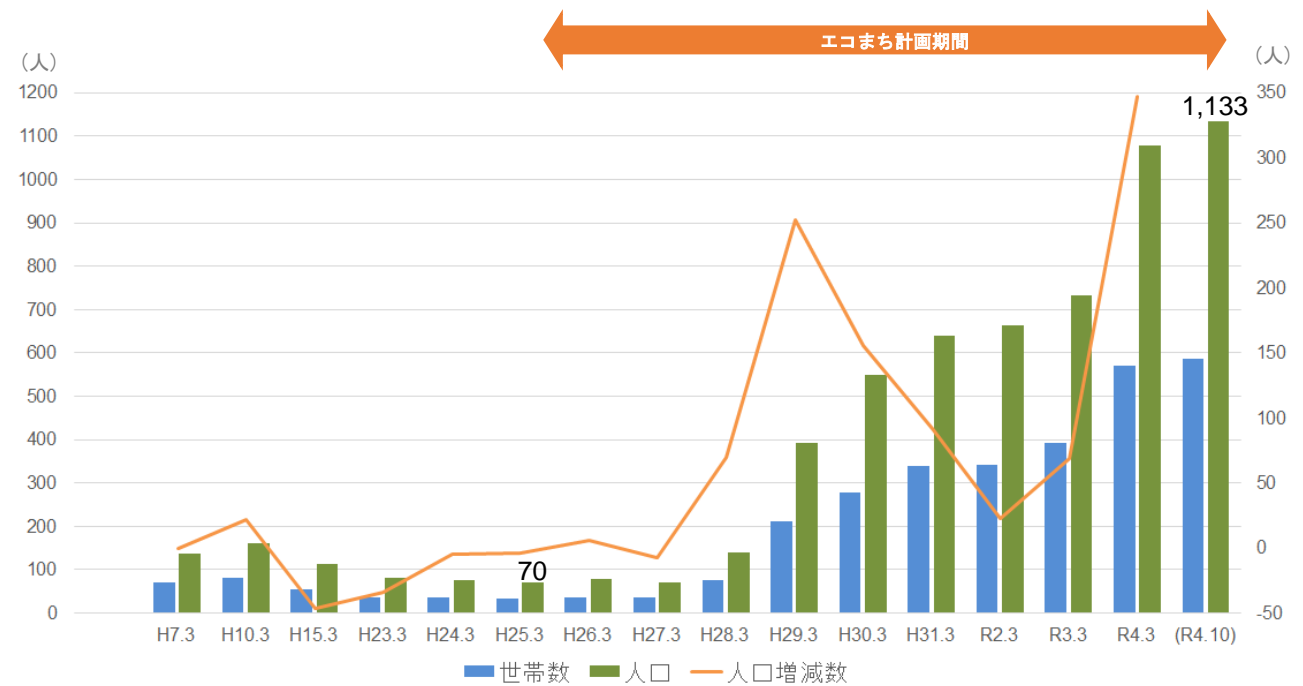
1-2 【参考】キセラ川西地区内人口推移

- 土地区画整理事業の都市基盤整備により人口推移は大きく変化した。
- キセラ川西せせらぎ公園の開園(H29.7)や大規模集客施設の開業(R1.7)などによる利便性の向上により、年々人口は増加しており、本計画策定時の平成25年3月末時点の70人から令和4年10月末時点で1,133人となった。

	H7.3	H10.3	H15.3	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	H31.3	R2.3	R3.3	R4.3	(R4.10)
世帯数	69	79	54	36	35	32	36	36	74	211	276	337	340	390	568	585
人口	137	159	113	79	74	70	76	69	139	391	547	639	662	731	1,078	1,133
人口増減数	—	22	△46	△34	△5	△4	6	△7	70	252	156	92	23	69	347	

※各年3月末現在の統計による
 ※人口増減数は対前年比
 資料:川西市総務課 町別人口集計表(公開用)

キセラ川西(火打1丁目)地区内人口推移



取り組み

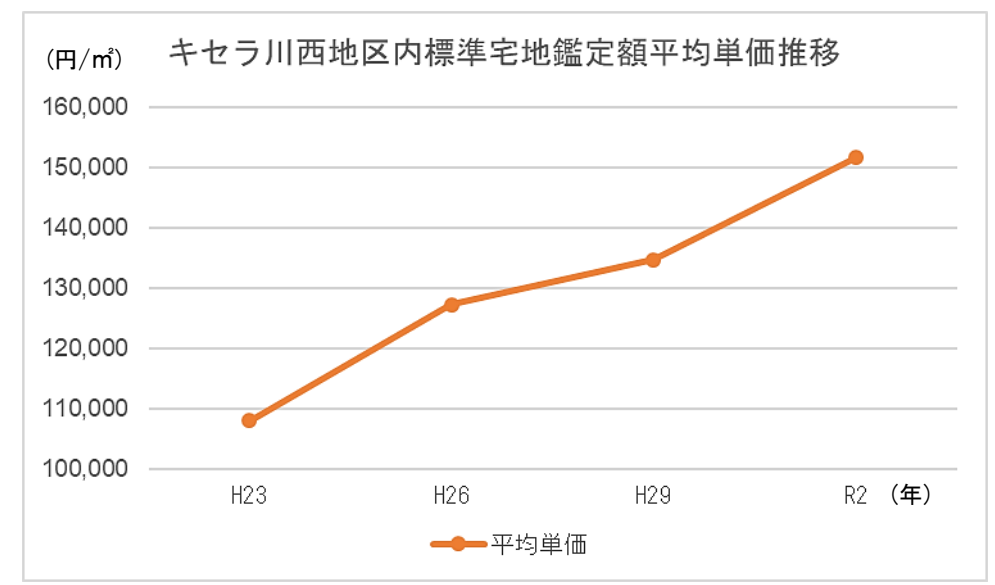
達成状況[詳細]

1-3 【参考】キセラ川西地区内標準宅地鑑定額推移

• 標準宅地鑑定価格は各用途区域とも上昇しており、平均単価について、令和2年時で平成29年比12.6%と大きく上昇している。

	状類番号	用途区域	鑑定価格(円/㎡)	平均単価(円/㎡)	増加率(%)
H23	511	中小工場	81,100	108,050	—
	545	併用住宅	135,000		
H26	508	中小工場	99,200	127,300	17.8%
	509	普通住宅	121,000		
	545	併用住宅	141,000		
	549	併用住宅	148,000		
H29	508	中小工場	110,000	134,750	5.9%
	509	普通住宅	128,000		
	545	併用住宅	145,000		
	549	併用住宅	156,000		
R2	509	普通住宅	136,000	151,667	12.6%
	545	併用住宅	158,000		
	549	併用住宅	173,000		
	550	併用住宅	139,000		
	551	中小工場	116,000		
	552	普通商業	188,000		

※各年度1月1日時点
 ※3年に1回鑑定取得
 ※増加率は、前回単価との比較
 資料:川西市資産税課



取り組み	達成状況〔詳細〕	評価								
<p>1-4 エコまち協議会・交通部会・みどり部会を開催し、情報共有・協議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 市・有識者・地権者・関係事業者などにより構成された『エコまち協議会』を開催し、地区の持続可能なまちづくりに向けたモニタリングのための情報共有・協議を行った。 また、事業の進捗にあわせ、協議会のもとに専門部会（『交通部会』、『みどり部会』）を設置した。 <p>市長</p> <p>↑ 諮問・答申 ↓</p> <p>キセラ川西エコまち協議会 (委員数17名/H24.8~R5.2 : 25回実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>設置の目的</td> <td>「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の実施 →モニタリング、情報提供、技術的支援</td> </tr> <tr> <td>当初の目標</td> <td>「安全で安心して住み続けられる居住環境の整備」 ・低炭素や省エネへの配慮 ・「持続可能なまちづくり」に向けた定住魅力の向上 ・多世代の交流</td> </tr> </table> <p>→ 専門部会へ要請・報告 ↓</p> <p>交通部会 (部会員数14名/H25.11~R3.3 : 16回実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的</td> <td>「公共交通、低炭素末端交通手段を守り育て低炭素な移動を確保」 ・エコまち計画の交通分野における施策検討 ・公共交通の利用促進や中心市街地活性化区域における回遊性の向上→案内サイン等の設置 ・徒歩や自転車の利用増加による環境負荷の削減</td> </tr> </table> <p>→ みどり部会 ↓</p> <p>みどり部会 (部会員数18名/H28.6~R5.1 : 10回実施)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的</td> <td>「市民参加による緑化活動の推進など市民とともに緑を育むまちを目指す」 ・「キセラ川西せせらぎ公園」、「せせらぎ遊歩道南線」の利活用のガイドラインの策定・改定 ・地域組織(この指トマレプロジェクト)、関連団体(事業者協議会)との連携</td> </tr> </table>	設置の目的	「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の実施 →モニタリング、情報提供、技術的支援	当初の目標	「安全で安心して住み続けられる居住環境の整備」 ・低炭素や省エネへの配慮 ・「持続可能なまちづくり」に向けた定住魅力の向上 ・多世代の交流	目的	「公共交通、低炭素末端交通手段を守り育て低炭素な移動を確保」 ・エコまち計画の交通分野における施策検討 ・公共交通の利用促進や中心市街地活性化区域における回遊性の向上→案内サイン等の設置 ・徒歩や自転車の利用増加による環境負荷の削減	目的	「市民参加による緑化活動の推進など市民とともに緑を育むまちを目指す」 ・「キセラ川西せせらぎ公園」、「せせらぎ遊歩道南線」の利活用のガイドラインの策定・改定 ・地域組織(この指トマレプロジェクト)、関連団体(事業者協議会)との連携	<p>1-4 エコまち協議会・交通部会・みどり部会の開催・取り組み状況のとりまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> 『エコまち協議会』では、エコまち計画及び運用基準の策定及び改定にあたっての審議や「エコまちラベリング」「エコまち建築賞」「モニタリング」の内容についても共有しながら、さらなる低炭素化の取り組みに向けた意見交換等を行った。 キセラ川西から中心市街地区域内を含めた低炭素な移動手段の確保を検討する『交通部会』では、交通事業者を中心に、鉄道・バスの利用促進のための具体策や地区内での駐車場マネジメントを検討した。 『みどり部会』は、キセラ川西せせらぎ公園における市民の自由、かつ、柔軟な公園利活用を推進することを目的とした公園のあり方に関する議論を進めるとともに、「キセラ川西せせらぎ公園利活用ガイドライン」の策定や改定に関する協議を実施してきた。 <p>委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者 ・関係市民 ・関係団体 大阪ガス(株) 関西電力(株) 能勢電鉄(株) キセラ川西PFI(株) 川西中央北エコまち研究会 ・行政 オブザーバー ・近畿地方整備局都市整備課 ・近畿経済産業局新エネルギー推進室 ・兵庫県都市計画課 <p>部会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者 ・市民 ・関係団体 西日本旅客鉄道(株) 能勢電鉄(株) 阪急電鉄(株) 阪急バス(株) 川西市中心市街地活性化協議会 キセラ川西PFI(株) 川西中央北エコまち研究会 ・行政 オブザーバー ・大阪ガス(株) ・関西電力(株) <p>部会員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有識者 ・市民 ・関係団体 (財)川西市文化・スポーツ振興財団 NPO法人 市民事務局かわにし 川西市中心市街地活性化協議会 (株)川西青年会議所 (株)JTBコミュニケーションデザイン ・行政 <p>H24 H25 H26 H27 H28 H29 H30 R1 R2 R3 R4</p> <p>キセラ川西エコまち協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> エコまち計画策定・改定 運用基準策定・改定 <ul style="list-style-type: none"> エコまちラベリング・建築賞 エネルギーモニタリング 緑化モニタリング 環境学習・普及啓発 <p>交通部会</p> <ul style="list-style-type: none"> シャトルバス導入検討 レンタサイクル活用検討 共用駐車場の検討 公共交通などモビリティマネジメント サイン計画 <p>みどり部会</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園利活用ガイドライン策定・改定 公園利活用の実績集計/評価指標検討 キセラ★カフェ キセラ丸～この指トマレプロジェクト～ 	<p>○</p>
設置の目的	「キセラ川西低炭素まちづくり計画」の実施 →モニタリング、情報提供、技術的支援									
当初の目標	「安全で安心して住み続けられる居住環境の整備」 ・低炭素や省エネへの配慮 ・「持続可能なまちづくり」に向けた定住魅力の向上 ・多世代の交流									
目的	「公共交通、低炭素末端交通手段を守り育て低炭素な移動を確保」 ・エコまち計画の交通分野における施策検討 ・公共交通の利用促進や中心市街地活性化区域における回遊性の向上→案内サイン等の設置 ・徒歩や自転車の利用増加による環境負荷の削減									
目的	「市民参加による緑化活動の推進など市民とともに緑を育むまちを目指す」 ・「キセラ川西せせらぎ公園」、「せせらぎ遊歩道南線」の利活用のガイドラインの策定・改定 ・地域組織(この指トマレプロジェクト)、関連団体(事業者協議会)との連携									

取り組み

1-5 新築建物定期的なエネルギー情報の集約

- ・エコまち計画では、低炭素化の達成状況を評価すること(モニタリング)を位置付け、キセラ川西地区内で平成26年度以降に建築行為を行われた方を対象に年1回調査票を送付し、電気・ガス等の消費量の把握を行い、エネルギー情報の集約を行った。

エネルギーモニタリングの方法

- ・「事前協議」を行った場合の一次エネルギー消費量「実績」と、事前協議を行わないで通常の開発が行われたと想定した場合の一次エネルギー消費量「標準推定値」について算出を行い、低炭素まちづくりの取り組みによる「削減量」をチェックする。

「削減量」＝「標準推定値」－「実績」

エネルギーモニタリングの調査対象（令和3年度）

- ・モニタリングの流れは図のとおりで、平成26年度以降、条例に基づく事前協議が行われ、令和3年3月までに建築の完了(完了報告及び検査済証)が確認され、令和3年4月から令和4年3月までの間の使用が想定される新築建物に調査票を送付し、「エネルギー別消費量報告」の得られた28件(過去の調査で回答の得られた7件を含む。)について一次エネルギー消費量を算出し、エネルギー書削減量の把握を行った。

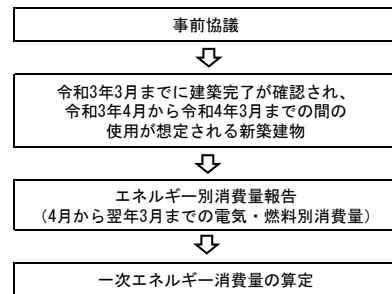


図 モニタリングの流れ

表 事前協議及びエネルギーモニタリング調査対象の件数（令和2年度）

項目	事前協議完了※1	調査対象	回答
件数	82件	48件	28件 (うち過年度7件※3)
【参考】 調査対象に対する一次エネルギー消費量推定値の割合※2	—	100%	96%

- ※1 事前協議完了の全件数(「取りやめ届」が提出された物件を含む。)[令和2年度末時点]
- ※2 調査対象(48件)の一次エネルギー消費量推定値を100%とした場合の回答(28件)の一次エネルギー消費量推定値が占める割合。
- ※3 過年度の回答値を用いたことを示す。

エネルギーモニタリング結果の公表

- ・市ホームページでエネルギーモニタリング結果を公表(平成28年から)

達成状況〔詳細〕

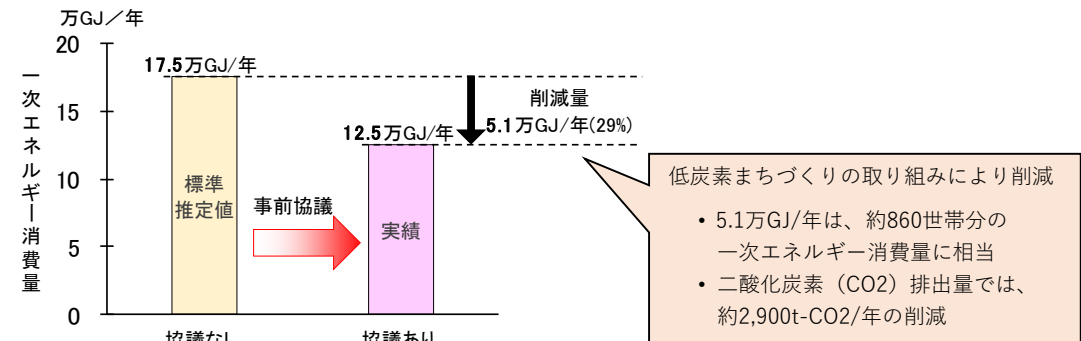
評価

○

1-5 エネルギーモニタリング（一次エネルギー消費の削減量）

新築建物の一次エネルギー消費量の算出と削減量（令和3年度）

- ・平成26年度以降、「事前協議」を行い、かつ、これまでに「エネルギー別消費量報告」のあった新築建物(28件)の実績一次エネルギー消費量は12.5万GJ/年であった。
- ・「事前協議を行わなかったと想定した場合」の一次エネルギー消費量(標準推定値)は17.5万GJ/年であった。
- ・その差5.1万GJ/年(協議なしの約29%)の削減が低炭素まちづくりの取り組みにより図られた。
- ・この削減量は、世帯当たり一次エネルギー消費量で見ると約860世帯分に相当する。

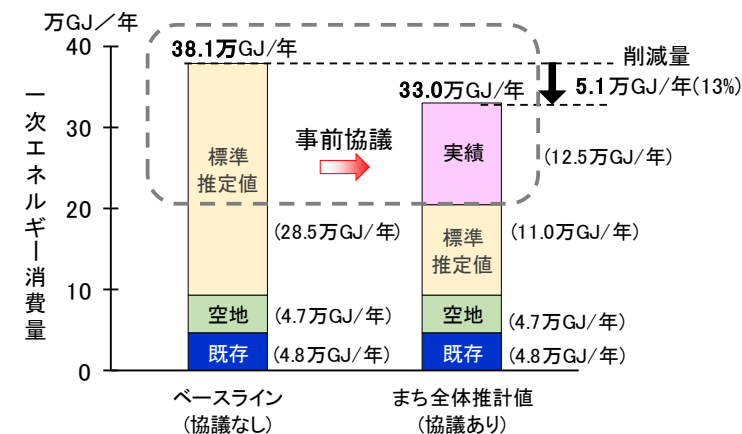


注 一次エネルギー消費量は、少数点以下2桁を四捨五入しているため、表記数値の計算が合わない場合がある。

図 新築建物の一次エネルギー消費量推定値と実績との比較（令和3年度）

まち全体の一次エネルギー消費量推計値（令和3年度）

- ・新築建物の令和2年度の実績一次エネルギー消費量、建築計画の延床面積より算出した一次エネルギー消費量(標準推定値)、想定建物(空地)及び既存建物を合わせたキセラ川西地区のまち全体の推計値とベースライン(協議なし)との関係を示す。
- ・協議ありの場合のまち全体推計値は33.0万GJ/年であった。
- ・ベースライン(協議なし)は38.1万GJ/年であった。
- ・その差5.1万GJ/年(約13%)が削減され、まち全体の削減目標8%を達成した。



- 注1 一次エネルギー消費量は、少数点以下2桁を四捨五入しているため、表記数値の計算が合わない場合がある。
- 注2 灰色破線で囲まれた部分は、上部図の本モニタリングにより確認された削減量と同じ。

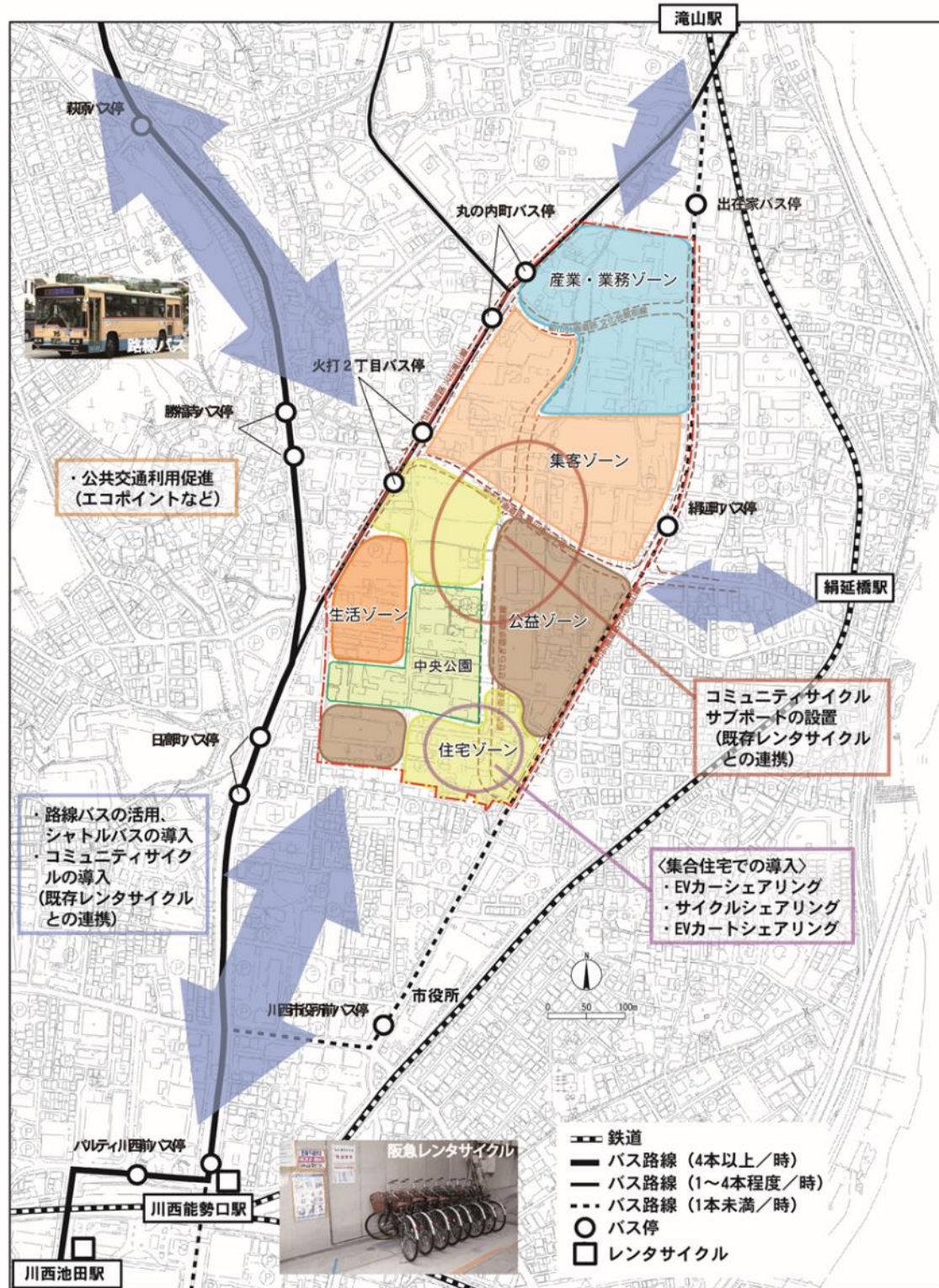
図 ベースラインとまち全体の一次エネルギー消費量推計値との比較（令和3年度）

取り組み

2-1 シャトルバス導入検討 (H25~26年度)

- 開発によって顕在化する課題(渋滞等)を踏まえ、先進事例を調査・研究し、キセラ川西地区で考えられる仕組みの検討を行った。

【参考】交通部会で検討する対策のイメージ



達成状況 [詳細]

評価

△

2-1 シャトルバス導入検討

- 他地域の事例を調査・研究し、キセラ川西地区に落とし込んで検討を進めたが、仕組みを支える企業までの議論には至らなかった。

第1回交通部会(H26.3.20) 審議要旨 抜粋

1. 中央北地区を含む市街地中心部ゾーンへの移動と交通手段の現状について

- 北部市街地からの来街者が多いこと、バス運行本数が多いこともありバス分担率が高いことから、これらバスの利用環境を整えることが重要である。

2. 取り組みの方向性について

- 60%程度の自動車分担率を、バスや能勢電鉄を活かして長期的に低減できると良い。
- 能勢口から猪名川方面に行くバス路線を中央北地区内に経路変更することは、利用客が一番多い路線で寄り道させられるイメージとなり、課題となる。
- シャトルバス事例は、1周30分から1時間程度の距離や企業(費用負担)が存在することから中央北地区と状況が異なるのではないか。0

資料3

シャトルバの実現可能性について

第1回 交通部会 (平成26年3月20日) 資料3より

事例名	施設送迎型					
	地元商業者主体型 まちバス	地元商工会主体型 呉明いきいきバス	地元企業主体型 丸の内シャトル	地域住民主体型 醍醐コミュニティバス	自治体主体型 鈴の音バス	
運行地域	京都市	高松市	富山市	東京都	京都市	中央北地区での可能性
運営主体	イオンリテール株式会社	高松丸亀町商店街振興組合	有限会社まちづくり公社呉羽(商工会中心のまちづくり会社)	NPO法人大丸有エリアマネジメント協会(三菱地所株式会社を中心とした協議会)	醍醐地域にコミュニティバスを走らせる市民の会	
運行者	京阪京都交通株式会社	こでんバス株式会社	富山地铁中央バス株式会社	日の丸自動車興業株式会社	株式会社ヤサカバス	三重交通株式会社
運賃(1回)	100円	100円	100円	無料	200円	100円
運行頻度	1時間2~4本	1時間2本	1時間1本	1時間4~6本	1時間1本	1.5時間1本
途中停留所での乗降	不可	可	可	可	可	可
路線	駅⇔施設シャトル(片道10分程度)	中心市街地循環(1周25分程度)	中心市街・住宅地循環(1周1時間程度)	中心市街地循環(1周35分程度)	中心市街・住宅地循環(1周1時間程度)	中心市街地循環(1周1時間程度)
根拠法規	一般乗合旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業	一般貸切旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業	一般乗合旅客自動車運送事業
運行経費負担割合						
その他特記事項		・高松丸亀町商店街振興組合や高松三越が主に運行経費を負担。 ・地元電力会社や銀行から広告料として賛助金を集めている。	・商工会が主に運行経費を負担。	・三菱地所など21社が運行経費を負担。	・商業施設(パセオダイゴロー)、武田総合病院、醍醐寺が主に運行経費を負担。 ・それ以外にも地元の企業団体約40団体がパートナーとして、月9,000~24,000円を、約200の個人が個人応援として年3,000~10,000円を負担。	・市が中心になって、中心市街地の事業者からの協賛を集めている。
課題	・地区内の他の施設へのアクセスに利用できない。	・事業者の主体性によるところが大きい。 ・地域密着の商店街だからこそ実現できており、単独の事業者で同じような形を実現するのは難しい可能性が高い。	・商工会の主体性によるところが大きい。	・地区の魅力向上に対して、関心の高いティロッパーの主体性によるところが大きい。	・市民レベルでの、公共交通必要性に対する意識の盛り上がりが必要。	・行政のリスクが高くなる。

※愛知県下のコミュニティバスの実績より(出典:「成功するコミュニティバス」(中部地域公共交通研究会))

【参考】

年間経費	1車両あたり1,200万円
経費負担割合	市負担30%、事業者・企業負担50%、運賃20%(他地域6事例を参考地としている)
年間負担金額	市360万円

取り組み

達成状況〔詳細〕

評価

2-2 レンタサイクル活用検討 (H25~28年度)

2-2 レンタサイクル活用検討

△

- キセラ川西地区や周辺施設、川西能勢口駅(市役所)などにサイクルポートを整備し、自転車による移動を促進。又は既存レンタサイクル(阪急)の活用・拡充を検討した。

- 既存駐輪場の利用実態調査等を実施し、レンタサイクル社会実験の準備を進めたが、実現には至らなかった。
- 今後においても中心市街地の回遊性向上に向けたレンタサイクルの活用は、まちづくりの要素と考える。

第7回 交通部会 (平成29年2月3日) 資料1より

第7回 交通部会 (平成29年2月3日) 資料1より

3. 交通分野における取組み(案)

(1) 自転車利用促進

目的	自転車圏の自動車利用から自転車利用への転換
対象	自転車利用促進ゾーン
施策	<ul style="list-style-type: none"> 自転車利用に関するニーズ調査 自転車走行環境の検討 自転車シェアリング(レンタサイクル) 電動アシスト自転車の導入 利用促進インセンティブの検討 交通安全対策 社会実験・モニタリング

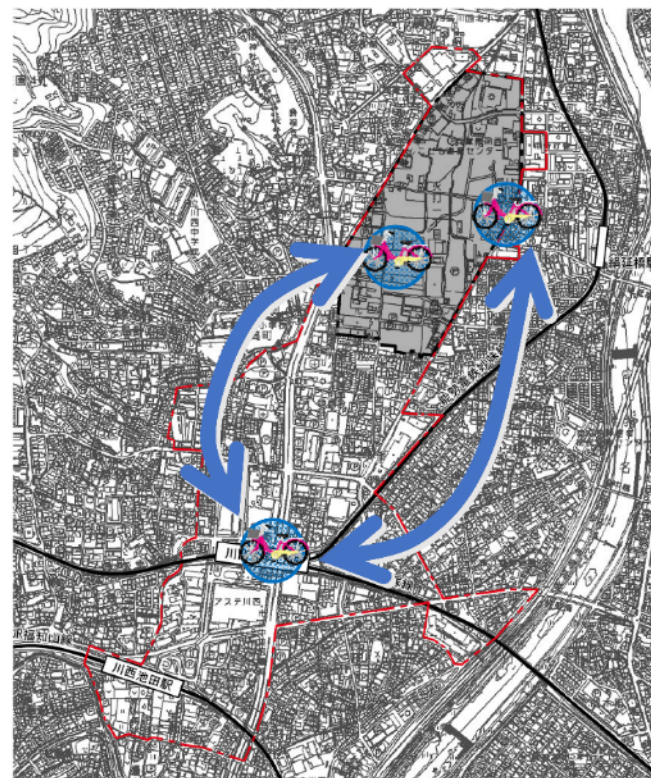
自転車シェアリング(レンタサイクル)

キセラ川西や周辺施設、川西能勢口駅などにサイクルポートを整備し、自転車による移動を促進する。レンタサイクルにより駅周辺とキセラ川西地区との連絡を強化し、回遊性を高めることで中心市街地の活性化に寄与する。

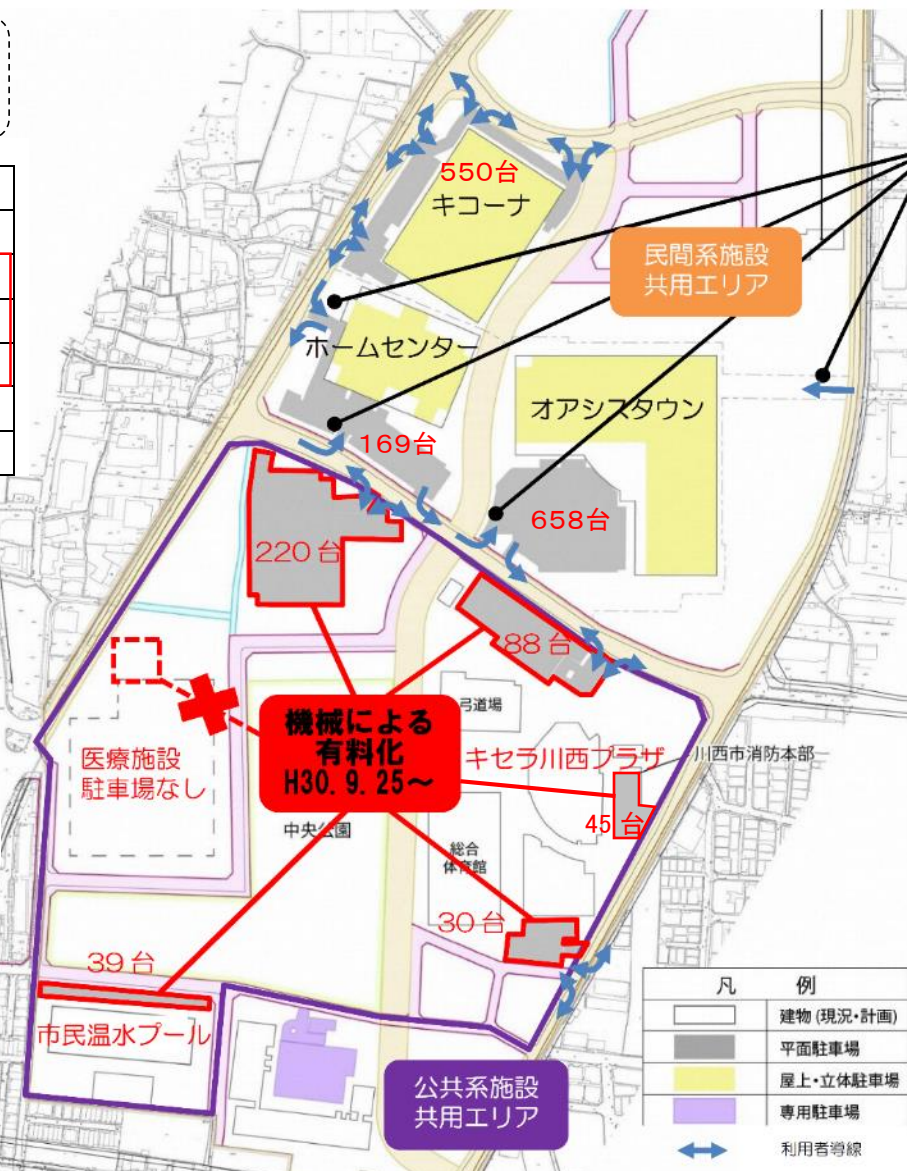
キセラ川西地区や駅前などの中心市街地への集客、滞在、その集客の移動手段の一つとして自転車シェアリング(レンタサイクル)の社会実験を位置づける。

<自転車シェアリングのイメージ>

- 駅周辺とキセラ川西地区にサイクルポートを設け、貸出、返却を実施
- 既存のレンタサイクルとの連携、連絡について調整
- 観光やサイクリングを目的とした自転車で回遊できるマップの作成
- レンタサイクルを実施している阪急バスやコラッジョ川西(川西市を拠点とした自転車ロードレースチーム)とのタイアップ
- 中心市街地の活性化、回遊性の向上に繋がる周辺店舗との連携(店舗情報発信、レンタサイクルの利用でのクーポン配布)
- 市域を超えた連携(川西市⇄池田市)



8. 交通社会実験のイメージ

取り組み	達成状況〔詳細〕	評価																																																						
<p>2-3 共用駐車場の検討 (H29~30年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> キセラ川西地区内施設(キセラ川西プラザ、温水プール、医療施設、オアシスタウン、キコーナ)を対象に地区の付加価値の向上(施設間のついで利用、わかりやすい駐車場利用、駐車場待ちの車両排出CO₂の削減など)を目的として駐車場共用化を検討した。 <p>※キセラ川西プラザが下記条件で先行整備していたため、他施設においてもこの条件で共用化することを目指した</p> <ul style="list-style-type: none"> 機械管理(ゲート、フラップ、カメラ等)、管理会社を「三井のリパーク」 有料(基本⇒1h無料、50円/30分 施設利用⇒3hまで無料・200円/日最大 未利用⇒上限なし) <table border="1" data-bbox="174 524 1298 836"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名 項目</th> <th colspan="3">公共系施設</th> <th colspan="2">民間系施設</th> </tr> <tr> <th>キセラ川西プラザ</th> <th>温水プール</th> <th>医療施設</th> <th>阪急オアシス</th> <th>アンダーツリー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械管理</td> <td>ゲート式</td> <td>フラップ式</td> <td rowspan="4">駐車場を 設けない</td> <td>- (※)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>管理会社</td> <td colspan="3">三井のリパーク</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>料金体系</td> <td colspan="3">有料</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>キセラでの共用化</td> <td colspan="3">○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>結論</td> <td colspan="5">キセラ川西地区で目指した共用化は実現できない</td> </tr> </tbody> </table> <p>商業施設では、ゲートによる管理はスムーズな入出庫が確保できず、道路上や場内の滞留が発生することが懸念されるため実施されない。 また、遊戯施設も含めて、駐車場有料化により利用者への心理的抑制に繋がる可能性があるため、機械設置が敬遠されている。 仮に、カメラ式等のゲートを設置しない形(スムーズな入出庫が確保できる方法)での管理を実施する場合には6,000万円程度の機器整備費用が発生し、1,300万円/年程度の年間維持管理費が必要となる。 駐車場利用収入も期待できないことから整備は現実的ではない。</p> <p>第11回 交通部会(平成30年10月26日)資料1より 民間施設ヒアリング結果</p> <table border="1" data-bbox="147 1219 1298 1927"> <thead> <tr> <th>事業者</th> <th>日時・方法</th> <th>駐車場共用化に向けた意見</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">商業施設 (阪急オアシス (オアシスタウン))</td> <td>H30.1/15 (直接面談)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●共用化及び地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車場への入庫待ち渋滞の発生を懸念している。 ●現時点では機械の設置を考えていない。(円滑な入庫が確保できれば設置は構わない) ●駐車料金は無料で考えている。(複合施設と同じ料金体系は無料に等しいと感じている) ●機械の未設置(アクセスしやすい)、無料により当施設への駐車が増えても構わない。 </td> </tr> <tr> <td>H30.2/5 (三井のリパーク 同席)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○機械の設置は利用が落ちついた時期から、必要があれば再検討する。(円滑な入庫が条件なので導入するならばカメラ式。) ○精算や運用については各テナントとの調整も必要となる。【●:ヒアリング時点、○:今後】 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">遊戯施設 アンダーツリー(株) (キコーナ)</td> <td>H30.7/31 (直接面談)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●計画台数 863台。 ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●各入口に満空表示を設置。(1階・3階は全数感知、屋上は通過台数管理) ●施設外利用者に対して、利用制限は実施しない予定。(イベント時等の相互利用は了解済) ●他駐車場利用者の買い物客に対しての割引認証は利用状況等を加味して将来的に検討。(当初は割引認証の予定はない) </td> </tr> <tr> <td>H30.1/10 H30.2/22 (直接面談)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車料金は無料で考えている。 ●有料や機械設置による渋滞等が発生すれば、客足が遠のく。 ●オアシスの共用化に関する今後の動向・情報がないと判断できない。 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>H30.10/2.17</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●施設外利用者に対する利用制限は、今後の利用状況を加味して将来的に検討。 </td> </tr> </tbody> </table>	施設名 項目	公共系施設			民間系施設		キセラ川西プラザ	温水プール	医療施設	阪急オアシス	アンダーツリー	機械管理	ゲート式	フラップ式	駐車場を 設けない	- (※)	-	管理会社	三井のリパーク			-	料金体系	有料			無料	キセラでの共用化	○			×	結論	キセラ川西地区で目指した共用化は実現できない					事業者	日時・方法	駐車場共用化に向けた意見	商業施設 (阪急オアシス (オアシスタウン))	H30.1/15 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●共用化及び地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車場への入庫待ち渋滞の発生を懸念している。 ●現時点では機械の設置を考えていない。(円滑な入庫が確保できれば設置は構わない) ●駐車料金は無料で考えている。(複合施設と同じ料金体系は無料に等しいと感じている) ●機械の未設置(アクセスしやすい)、無料により当施設への駐車が増えても構わない。 	H30.2/5 (三井のリパーク 同席)	<ul style="list-style-type: none"> ○機械の設置は利用が落ちついた時期から、必要があれば再検討する。(円滑な入庫が条件なので導入するならばカメラ式。) ○精算や運用については各テナントとの調整も必要となる。【●:ヒアリング時点、○:今後】 	遊戯施設 アンダーツリー(株) (キコーナ)	H30.7/31 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●計画台数 863台。 ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●各入口に満空表示を設置。(1階・3階は全数感知、屋上は通過台数管理) ●施設外利用者に対して、利用制限は実施しない予定。(イベント時等の相互利用は了解済) ●他駐車場利用者の買い物客に対しての割引認証は利用状況等を加味して将来的に検討。(当初は割引認証の予定はない) 	H30.1/10 H30.2/22 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車料金は無料で考えている。 ●有料や機械設置による渋滞等が発生すれば、客足が遠のく。 ●オアシスの共用化に関する今後の動向・情報がないと判断できない。 		H30.10/2.17	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●施設外利用者に対する利用制限は、今後の利用状況を加味して将来的に検討。 	<p>2-3 共用駐車場の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共系施設の駐車場は共用化が実現したが、民間系施設も含めての駐車場共用化は困難であった。民間系施設の料金体系は無料であり、運用の仕方でも同様の効果発現をめざす。  <p>総合満車表示灯※ RF 3F 1F 各階の満空車状況が一目で分かるように表示させ、利用者の利便性を確保。</p> <p>エリア満車灯※ 空きスペースへの車両誘導により、複雑な車両導線や特定エリアへの車両集中による渋滞を緩和させ、誘導員の削減・安全性の向上を図る。</p> <p>車室センサー※ 各車室の天井または床面に設置して車両の検出を行う超音波センサー。</p> <p>まねき灯※ 駐車ブロック毎に設置し、その空きスペース状況を表示。</p> <p>凡例 □ 建物(現況・計画) □ 平面駐車場 □ 屋上・立体駐車場 □ 専用駐車場 ⇄ 利用者導線</p>	<p>1 都市構造分野</p> <p>2 交通分野</p> <p>3 建築分野</p> <p>4 みどり分野</p> <p>5 エネルギー分野</p>
施設名 項目		公共系施設			民間系施設																																																			
	キセラ川西プラザ	温水プール	医療施設	阪急オアシス	アンダーツリー																																																			
機械管理	ゲート式	フラップ式	駐車場を 設けない	- (※)	-																																																			
管理会社	三井のリパーク			-																																																				
料金体系	有料			無料																																																				
キセラでの共用化	○			×																																																				
結論	キセラ川西地区で目指した共用化は実現できない																																																							
事業者	日時・方法	駐車場共用化に向けた意見																																																						
商業施設 (阪急オアシス (オアシスタウン))	H30.1/15 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●共用化及び地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車場への入庫待ち渋滞の発生を懸念している。 ●現時点では機械の設置を考えていない。(円滑な入庫が確保できれば設置は構わない) ●駐車料金は無料で考えている。(複合施設と同じ料金体系は無料に等しいと感じている) ●機械の未設置(アクセスしやすい)、無料により当施設への駐車が増えても構わない。 																																																						
	H30.2/5 (三井のリパーク 同席)	<ul style="list-style-type: none"> ○機械の設置は利用が落ちついた時期から、必要があれば再検討する。(円滑な入庫が条件なので導入するならばカメラ式。) ○精算や運用については各テナントとの調整も必要となる。【●:ヒアリング時点、○:今後】 																																																						
遊戯施設 アンダーツリー(株) (キコーナ)	H30.7/31 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●計画台数 863台。 ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●各入口に満空表示を設置。(1階・3階は全数感知、屋上は通過台数管理) ●施設外利用者に対して、利用制限は実施しない予定。(イベント時等の相互利用は了解済) ●他駐車場利用者の買い物客に対しての割引認証は利用状況等を加味して将来的に検討。(当初は割引認証の予定はない) 																																																						
	H30.1/10 H30.2/22 (直接面談)	<ul style="list-style-type: none"> ●地域貢献活動等には前向きに検討していきたい。 ●駐車料金は無料で考えている。 ●有料や機械設置による渋滞等が発生すれば、客足が遠のく。 ●オアシスの共用化に関する今後の動向・情報がないと判断できない。 																																																						
	H30.10/2.17	<ul style="list-style-type: none"> ●ゲート等の設置は行わず、無料利用とする。 ●施設外利用者に対する利用制限は、今後の利用状況を加味して将来的に検討。 																																																						

取り組み

2-4 公共交通の利用促進などモビリティマネジメント (H30~R2年度)

1. 動線表示の統一化 (ロゴ)

- キセラ川西せせらぎ公園で開催されるイベント開催案内(チラシ)に掲載するため、最寄りの公共交通機関を示した「公園までの案内図」を作成した。



キセラ川西地区の駐車場は限られています。公共交通機関をご利用ください。
 【キセラ川西地区へのアクセス(経路)】
 阪急・能勢電鉄「川西能勢口」駅から徒歩8分。「絹延橋」駅から徒歩2分。
 JR「川西池田」駅から徒歩15分。
 阪急バス「日高町」停留所から徒歩2分。「勝福寺前」停留所から徒歩3分。

公園までの案内図



公共交通の案内ポスター【電車】

2. 公共交通の案内ポスター【電車・バス】

- 最寄り駅・バス停の発車時刻の情報周知や公共交通の利便性PRを目的として、キセラ川西地区へのアクセス方法や公共交通の時刻表を掲載したポスターを作成した。

達成状況[詳細]

評価

○

2-4 公共交通の利用促進などモビリティマネジメント

- 最寄り駅・バス停からキセラ川西せせらぎ公園へのアクセス方法を掲載した「公園までの案内図」を作成し、イベントチラシや公園利活用ガイドラインへ掲載し、周知を行った。
- キセラ川西地区へのアクセス方法や公共交通時刻表を掲載したポスターを作成し、公共施設等での掲示・周知を行った。



2-5 公共交通利用者数

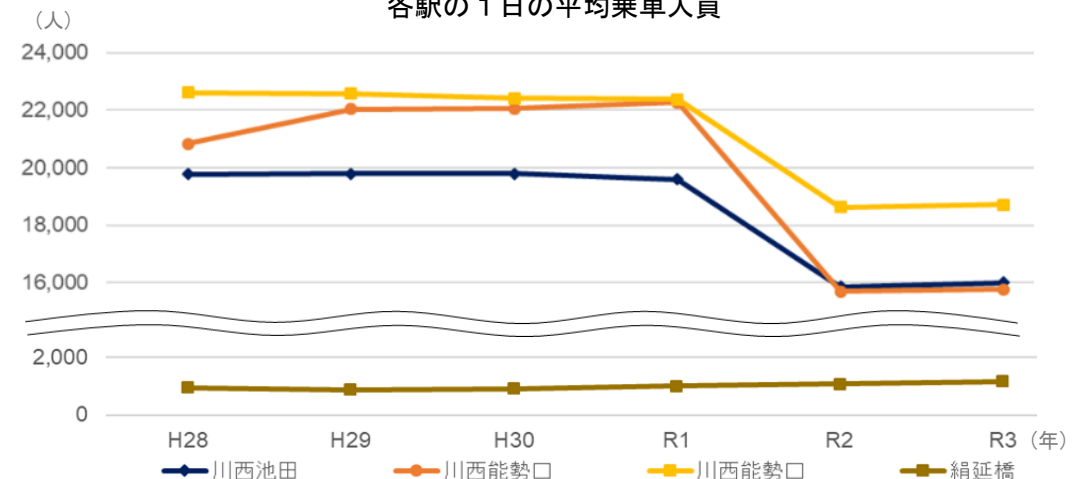
- 平成28年以降、JR川西池田駅、阪急・能勢電川西能勢口駅ともほぼ横ばいで推移してきたが、令和2年以降において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、約2割減の乗車人員となったが、絹延橋駅については、約1割の増加となった。

各駅の1日の平均乗車人員

	川西池田 (JR)	比率	川西能勢口 (阪急)	比率	川西能勢口 (能勢電)	比率	絹延橋 (能勢電)	比率
H28	19,771	100%	20,838	100%	22,604	100%	942	100%
H29	19,781	100%	22,041	106%	22,567	100%	880	93%
H30	19,787	100%	22,047	106%	22,411	99%	909	96%
R1	19,595	99%	22,268	107%	22,376	99%	992	105%
R2	15,856	80%	15,701	75%	18,622	82%	1,075	114%
R3	15,993	81%	15,766	76%	18,708	83%	1,155	123%

※比率は、平成28年の乗車人員を100%とした場合の年度別対比率
 資料:JR西日本、阪急電鉄(株)都市交通事業部、能勢電鉄(株)鉄道事業部

各駅の1日の平均乗車人員



[参考] イベントチラシへの記載

取り組み

達成状況[詳細]

2-6 【参考】事業者による公共交通利用促進の活動状況

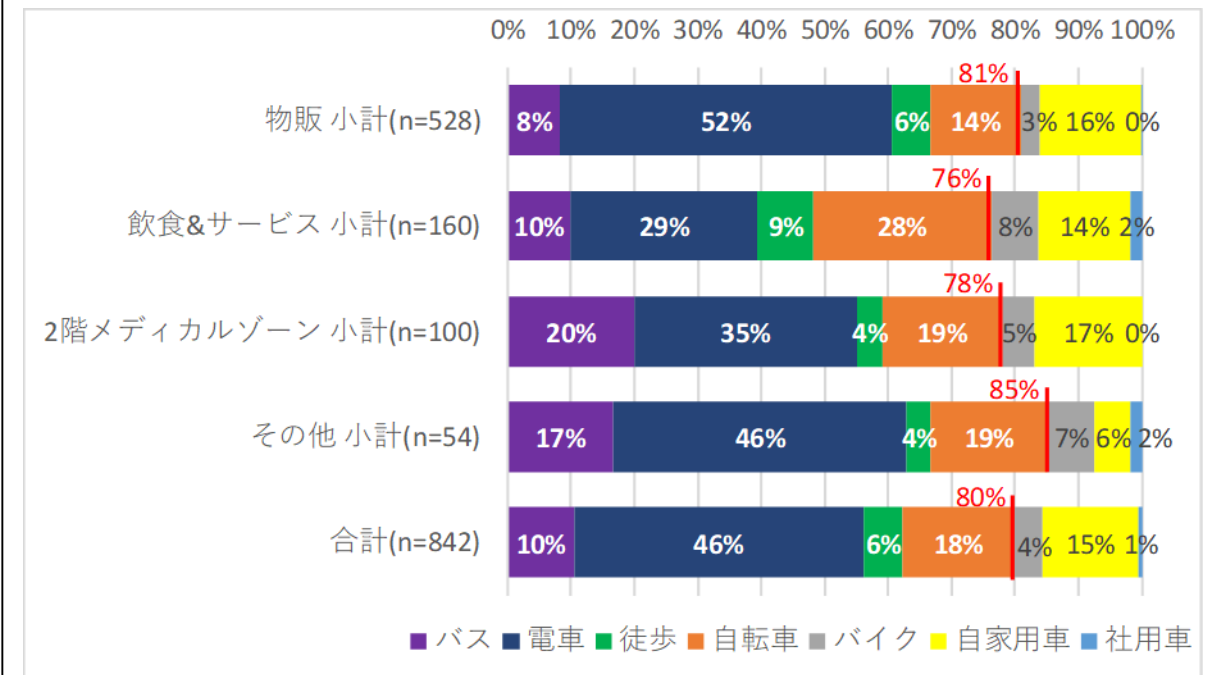
第13回 交通部会（令和2年1月30日）資料2より

2. 事業者による活動状況

(1) オアシスタウン内の通勤手段

- ・オアシスタウン、ロイヤルホームセンターによる通勤手段調査結果(令和2年1月)では、60%弱がバス・電車(公共交通機関)を利用し、徒歩・自転車を含めると約80%になる。
- ・従業員に対して、公共交通機関の利用を指導しているため一定の成果が確認される。

【通勤手段】オアシスタウン従業員の通勤手段



(資料提供: 阪急オアシス ※数値は四捨五入して表記)

(2) オアシスタウン内の駐車場利用状況

- ・交通渋滞について、現状、周辺へ影響を及ぼす様な渋滞は発生していない。
- ・平日はほぼ4階駐車場が空いており、週末についても満車になることがほとんどない状況である。

(3) 今後の活動について

- ・ショッピングセンター共用部に啓発ポスターの貼り付けを検討(周辺公共交通の時刻入、阪急オアシス作成)。
- ・毎月実施している「テナント会」で、さらなる公共交通利用促進の指導、情報を共有。
(既に、川西能勢口駅からは公共交通機関を使わず歩いている方が多数)
- ・絹延橋駅間の道路照度が低く、女性従業員や顧客に対して夜間の通行を促進するのは難しい。

取り組み

2-7 サイン計画 (H30~R2年度)

- キセラ川西せせらぎ公園を中心とした、キセラ川西地区を含む中心市街地活性化基本計画区域での回遊性の向上を目的としてサイン計画を策定する。
- 回遊性の向上を達成するために、駅周辺地区とキセラ川西地区の両地区間と、各交通結節点(駅、バス停)から両地区への誘導を考えていく。

第21回 エコまち協議会 (令和3年3月19日) 資料1-3 交通部 まちあるきダイジェストより

達成状況 [詳細]

評価

○

2-7 サイン計画

- 計画に基づき公共交通の利用促進や中心市街地活性化区域における回遊性の向上のため、案内サイン等を設置した。

設置箇所図

周辺地図 (幅870 高さ580)

取り組み

達成状況[詳細]

評価

2-8 EV充電設備等の設置（運用基準による誘導）（H26～R4年度）

協議項目（低炭素まちづくり分野）

指定建築物

低炭素な移動手段の利用促進として、EV・PHV・FCVの充電設備などを設置

2-8 EV充電設備等の設置数

- 6基（令和4年11月末時点）
- 商業施設などで設置いただいた。

キコーナキセラ川西店

普通充電器：2基



オアシスタウンキセラ川西

普通充電器：2基



キセラ川西プラザ

普通充電器：1基



キセラ川西オリヴィエ

EV車カーシェア：1台



取り組み

2-9 土地区画整理事業による道路・歩道空間の整備 (H25～R1年度)

- 土地区画整理事業により、徒歩や自転車による周辺からのアクセスやバリアフリーに配慮した道路や歩道を計画した。

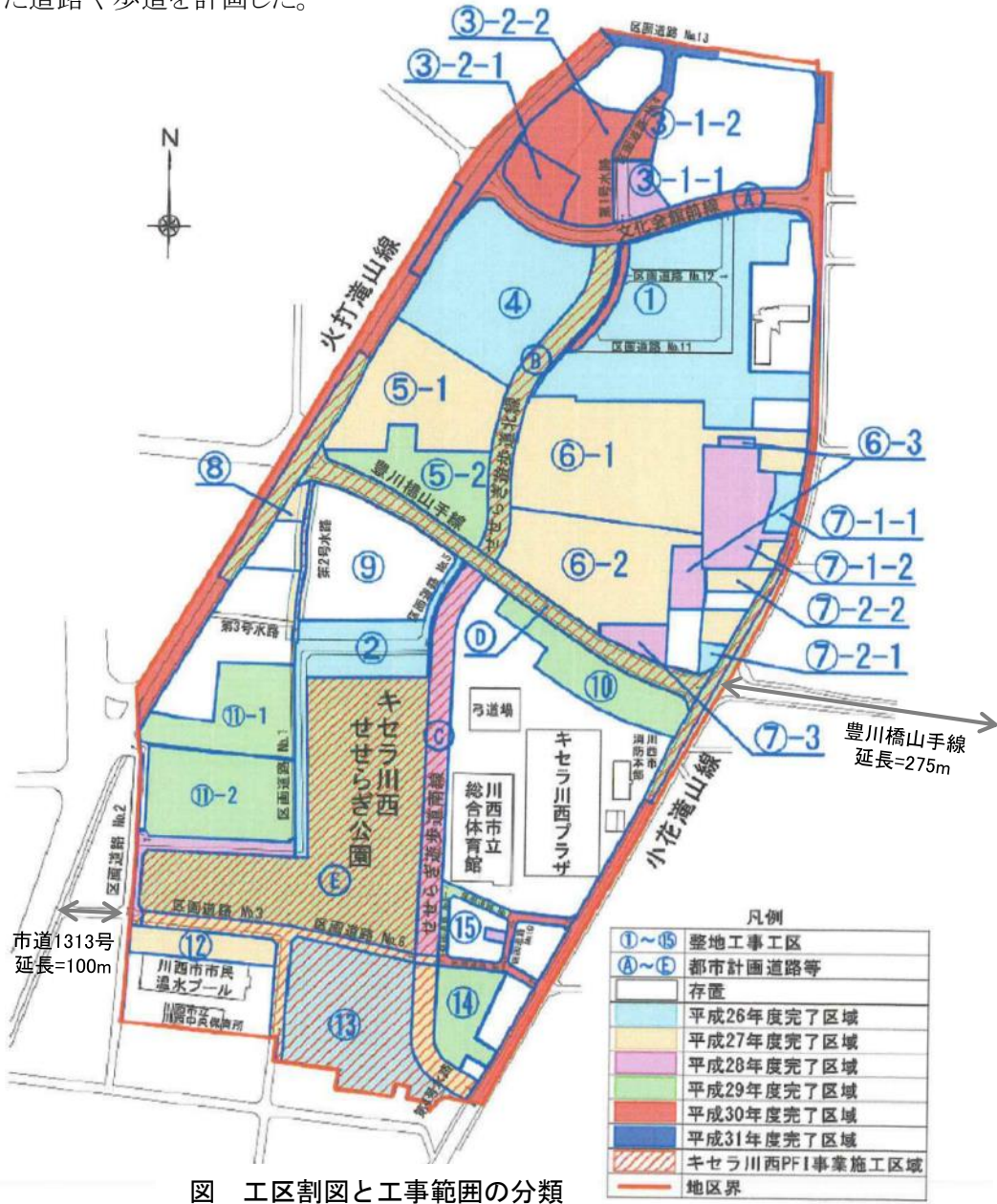


図 工区割図と工事範囲の分類

【参考 キセラ川西地区外】



市道1313号 (道路拡幅、歩道設置)



豊川橋山手線 (歩道設置)

達成状況 [詳細]

評価

○

2-9 土地区画整理事業による道路・歩道空間の整備

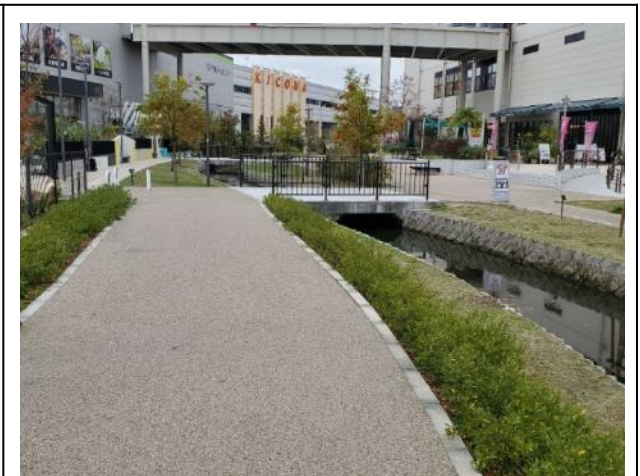
- 地区内外の道路、歩道を整備するとともに、文化会館前線において自転車レーンを設置した。

都市施設の概要

① 文化会館前線	街路	幅員14m、延長240m
④ 豊川橋山手線	街路	幅員12m、延長320m
② せせらぎ遊歩道北線	通路	幅員16m、延長380m
③ せせらぎ遊歩道南線	特殊街路	幅員16m、延長240m
⑤ 中央公園	公園	2ha



① 文化会館前線



② せせらぎ遊歩道北線



④ 豊川橋山手線



③ せせらぎ遊歩道南線

取り組み

3-2 キセラ川西エコまち運用基準による誘導（平成26年度～令和4年度）

「計画」を推進する「運用基準」

- ・計画を具体的に推進するため「キセラ川西エコまち運用基準」を策定（H26年3月）
- ・本地区独自の「運用基準」をもって建築物の低炭素化や敷地の緑化が誘導され、さらにはモニタリングの取り組みへ繋がった。

協議項目[低炭素まちづくり分野]

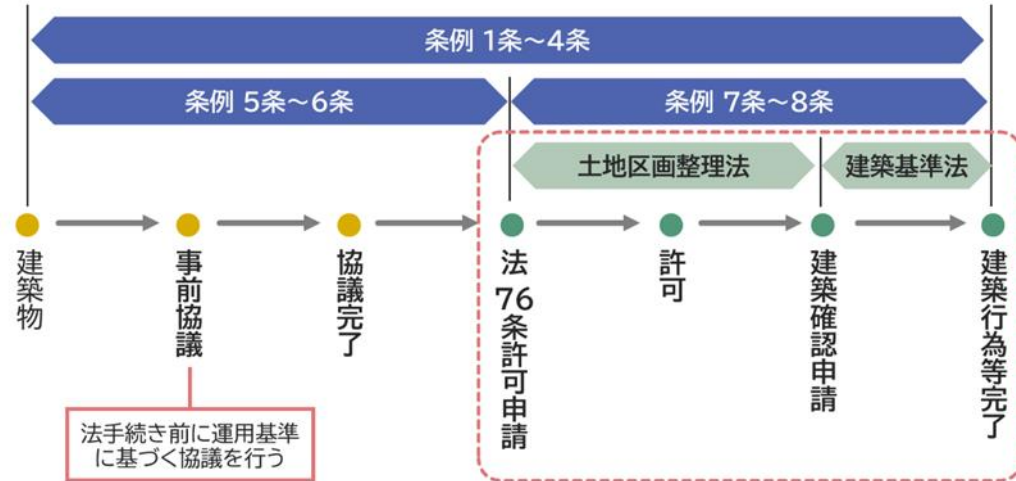
項目	項目内容	該当項目		
		ア	イ	ウ
(1)エネルギー	1 低炭素化・省エネ化への配慮	●	●	●
	2 エネルギー消費量の見える化など	●	●	S
	3 再生可能エネルギーの導入	●	●	S
	4 災害時におけるエネルギー供給等	●	—	—
	5 自然採光、自然通風システムの導入	●	●	—
(2)パッシブ	6 日ラック	●	S	S
(3)CASBEE	7 認定低炭素建築物	S	S	S
(4)認定低炭素建築物	8 基準駐車台数以下での計画	●	—	—
	9 自転車等駐輪台数の確保	●	●	●
	10 電気自動車の充電設備などの設置	●	—	—
(6)モニタリング	11 エネルギー消費量の開示同意	●	●	●
	12 エネルギー別消費量の報告	●	S	S
	13 地域住民等への環境学習等の実施	●	—	—
	14 公共交通利用促進策の実施	●	—	—
	15 電気自動車などの導入	●	S	S
	16 設備更新計画の作成	●	—	—
	17 表彰制度の活用	●	S	S

協議項目[緑・景観分野]

項目	協議内容	該当項目			
		A	B	C	D
(1)配置・高さ	1 建築物の高さ	●	●	●	●
	2 壁面位置後退	●	●	●	●
	3 眺望への配慮	●	●	●	●
	4 建築物の正面を主要道路に向ける	●	●	●	●
(2)窓庇	5 屋根勾配	●	●	●	●
	6 長大壁面の分割化による圧迫感の軽減	●	●	●	●
	7 太陽光発電施設の遮る治への設置	●	●	●	●
	8 魅力的な夜間景観の創出	●	●	●	●
	9 新しいまちとして実感できる景観形成	●	●	●	●
(3)色彩	10 外壁等の基調色、補助色、キセラ川西Cカラー	●	●	●	●
	11 外壁等の色彩によるざわいづり	●	●	●	●
(4)見え方	12 太陽光発電施設	●	●	●	●
	13 付帯設備	●	●	●	●
	14 駐車場	●	●	●	●
	15 開口設置率	●	●	●	●
(5)緑化	16 壁面位置後退部への緑化	●	●	—	—
	17 高木の植栽	●	●	—	—
	18 緑化の工夫	●	●	●	●
	19 屋外広告物の設置	●	●	●	●
(6)屋外広告物	20 キセラ川西ロゴマーク、Cカラーの利用	●	●	●	●
	21 広告物の提出方法	●	●	●	●
	22 建築物の一帯化、集合化	●	●	●	●
	23 照明の周辺環境への配慮	—	●	●	●
(7)モニタリング	24 緑地の維持管理	●	●	●	●

「計画」の実行性を担保する「手続条例」

- ・「運用基準」に準拠した建築物を確実に誘導すべく、土地地区画整理法第76条の許可申請に先立ち「運用基準」に基づく事前協議を行う仕組みを構築するため、「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地地区画整理事業に関する建築行為等の手続条例」を制定（H25年12月）
- ・これにより各宅地で土地利用を行う場合は、設計段階で協議することを可能とした。



手続条例による実効性の担保

達成状況[詳細]

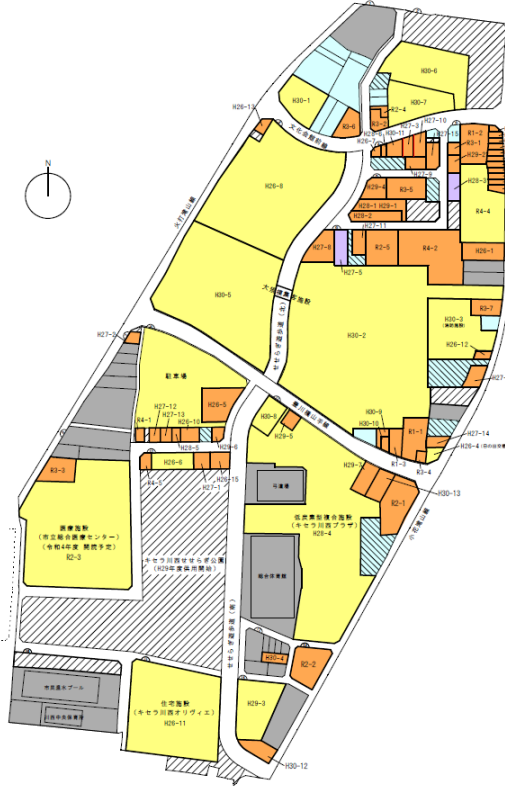
評価

○

3-2 事前協議の実施者数

- ・令和4年11月末時点で87件の事前協議を実施し、個別の土地利用に対して建築物の低炭素化や敷地の緑化に協力いただき、それが地区全体の低炭素化に繋がっている。

事前協議の状況-位置図-



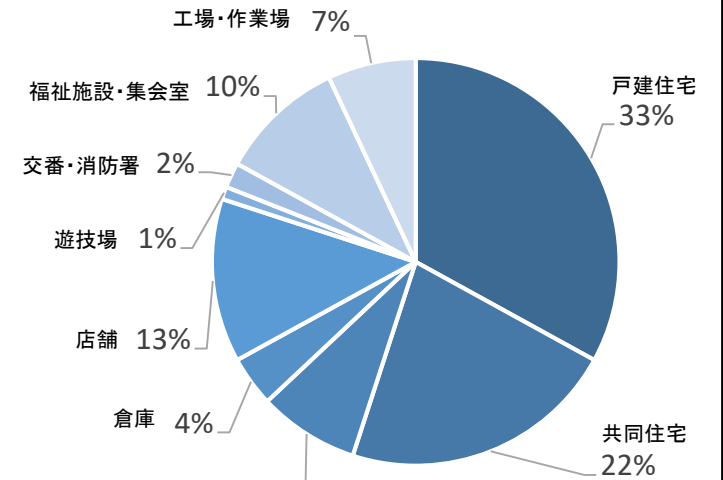
事前協議の割合

事前協議	件数 (件)	面積 (㎡)	面積割合 (%)
指定建築物	17	92,178	51
一般建築物	67	22,324	12
倉庫	3	1,343	1
未協議	22	6,442	3
未協議(駐車場使用)	2	592	1
存置	27	29,428	16
事前協議対象外工事	14	28,994	16
宅地計	152	181,301	100
道路等		47,564	
地区面積		228,865	

※令和4年11月末時点の事前協議を完了したものについて記載

事前協議の状況-用途別集計表-

用途	建物数	%
戸建住宅	29	33
共同住宅	19	22
事務所	7	8
倉庫	3	4
店舗	11	13
遊技場	1	1
交番・消防署	2	2
福祉施設・集会室	9	10
工場・作業場	6	7
合計	87	100



取り組み

達成状況[詳細]

評価

3-3 認定低炭素建築物*に関する支援（運用基準による誘導）

協議項目（低炭素まちづくり分野）

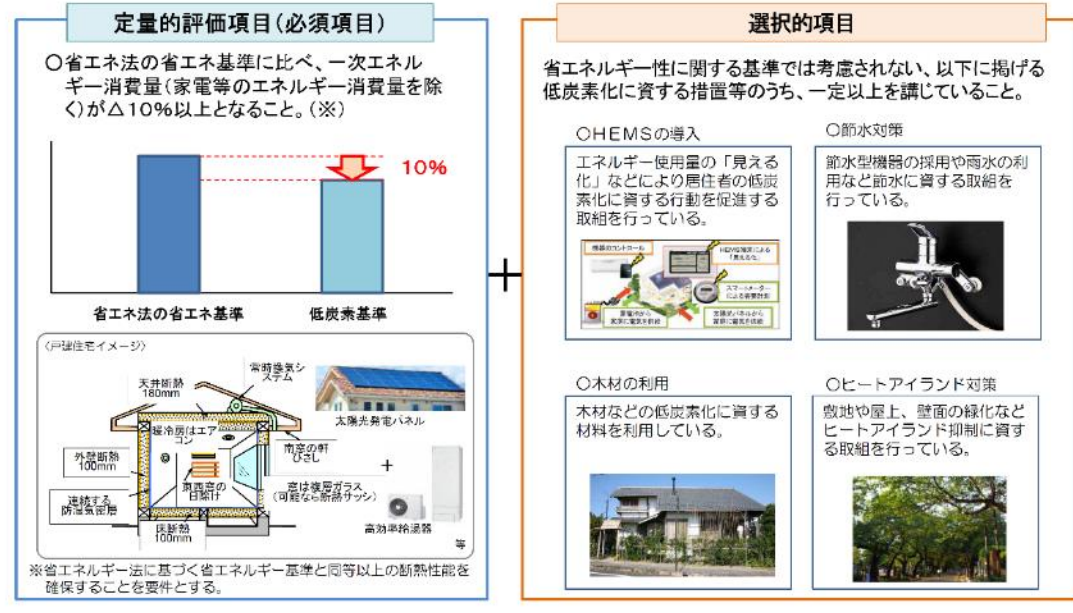
(4)	認定低炭素建築物
7	低炭素建築物の認定の取得

※ 認定低炭素建築物:

- ・都市の低炭素化の促進に関する法律(エコまち法)で定める、市街化区域等内において、低炭素化に関する先導的な基準に適合する建築物を認定する制度。
- ・省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量(家電等のエネルギー消費量を除く)が△10%以上となること。

低炭素建築物の認定に関する基準のイメージ

- 省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△10%以上となること。
- その他の低炭素化に資する措置が講じられていること。



出典：国土交通省ホームページ

3-3 認定低炭素建築物数（令和4年11月末時点）

○

- ・川西市で戸建住宅以外の低炭素建築物認定を受けた件数は4件で、すべてがキセラ川西地区内の建物であり、市のモデルとなる取り組みとなった。

認定低炭素建築物の取得状況

用途	認定時期	備考
共同住宅	平成26年度	平成28年度より入居
複合施設	平成28年度	平成30年開館
消防署	平成30年度	令和2年1月業務開始
共同住宅（46戸）	令和2年度	令和3年度 入居開始予定



共同住宅



複合施設



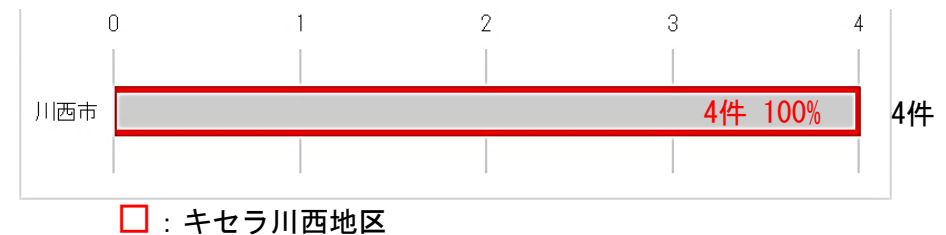
消防署



共同住宅（46戸）

出典：ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園 公式HP

認定低炭素建築物 戸建住宅以外（H26～R4）
 【キセラ川西地区が占める割合】



取り組み

達成状況[詳細]

評価

3-4 長期優良住宅※認定の活用（運用基準による誘導）

協議項目（低炭素まちづくり分野）

(6)	モニタリング
7	エネルギー把握および分析への協力
	長期優良住宅認定制度の申請書等の提供による協力

※長期優良住宅:

- ・長期優良住宅の普及の促進に関する法律で定める、長期にわたり良好な状態で使用するための措置がその構造及び設備に講じられた優良な住宅のこと。認定基準には、居住環境、可変性、耐震性、省エネルギー性、維持管理の容易さ、劣化対策などがある。

「長期優良住宅」とは、大きく分けて以下A～Dの4つの措置が講じられている住宅を指します。

【長期優良住宅の主な「認定基準」】

A. 長期に使用するための構造及び設備を有していること
 B. 居住環境等への配慮を行っていること
 C. 一定面積以上の住戸面積を有していること
 D. 維持保全の期間、方法を定めていること
 →詳しくは、③④ページ

「長期優良住宅」の認定を受けるためには、A～Dの全ての措置を講じ、必要書類を添えて所管行政庁に申請する必要があります。認定後、工事が完了すると維持保全計画に基づく点検などが求められます。
 →詳しくは、⑤⑥ページ

出典：国土交通省ホームページ

3-4 長期優良住宅認定数（令和4年3月末時点）

- ・キセラ川西地区の戸建て住宅の長期優良住宅の認定取得率を表に示す。
- ・認定件数の累計は8件となった。令和3年度に11区画の戸建住宅の販売があり、認定を取得されなかったこともあり、兵庫県の平均値より低い数値となった。

表 戸建て住宅の長期優良住宅の認定取得率

年度	キセラ川西地区	兵庫県	全国
平成26年度	60.0% (3/5)	27.2%	24.4%
平成27年度	75.0% (3/4)	31.0%	25.0%
平成28年度	0.0% (0/2)	30.8%	25.2%
平成29年度	100.0% (1/1)	31.5%	25.0%
平成30年度	0.0% (0/2)	31.7%	25.1%
令和元年度	0.0% (0/0)	31.5%	24.9%
令和2年度	0.0% (0/0)	33.0%	25.5%
令和3年度	7.1% (1/14)	34.6%	27.7%
累計	28.6% (8/28)	31.4%	25.4%

- 注1 全国の認定取得率は、国土交通省による。
 注2 兵庫県の認定取得率は、長期優良住宅認定取得戸数と新築戸建住宅数着工数の公表値より算出した。
 注3 キセラ川西地区の欄の()内は、地区内の申請戸建て住宅について長期優良住宅認定取得戸数／全戸建住宅数を示す。
 注4 累計の兵庫県、全国の数値は、単純平均値を示す。

取 り 組 み	達 成 状 況 [詳 細]	評 価
---------	-----------------	-----

3-5 CASBEE評価制度の活用（運用基準による誘導）

協議項目（低炭素まちづくり分野）

(6)	CASBEEの取得
-----	-----------

- 兵庫県では、「環境の保全と創造に関する条例」により、2,000平方メートル以上の規模の建築物を新築(増改築を含む。)しようとする者に対して、知事が定める指針に基づく評価を行い、工事着手の21日前までに届出を義務づけている。

CASBEEとは

「CASBEE」（建築環境総合性能評価システム）は、建築物の環境性能で評価し格付けする手法である。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムである。

CASBEEは、2001年4月に国土交通省住宅局の支援のもと産官学共同プロジェクトとして、建築物の総合的環境評価研究委員会を設立し、以降継続的に開発とメンテナンスを行っている。

CASBEEの特徴は、建築物の環境に対する様々な側面を客観的に評価するという目的から、

1. 建築物のライフサイクルを通じた評価ができること
2. 「建築物の環境品質(Q)」と「建築物の環境負荷(L)」の両側面から評価すること
3. 「環境効率」の考え方をを用いて新たに開発された評価指標「BEE（建築物の環境性能効率、Built Environment Efficiency）」で評価すること

という3つの理念に基づいて開発されている。また、評価結果が「Sランク（素晴らしい）」から、「Aランク（大変良い）」「B+ランク（良い）」「B-ランク（やや劣る）」「Cランク（劣る）」という5段階のランキングが与えられることも大きな特徴である。

出典：一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構ホームページ

3-5 CASBEE評価件数（令和4年3月末時点）

- キセラ川西地区のCASBEE評価結果を表に示す。
- 阪神間特定行政庁内でCASBEE評価結果を比較すると、キセラ川西地区のSランク取得は18%と尼崎市の5%と比べ3、6倍の数値となった。

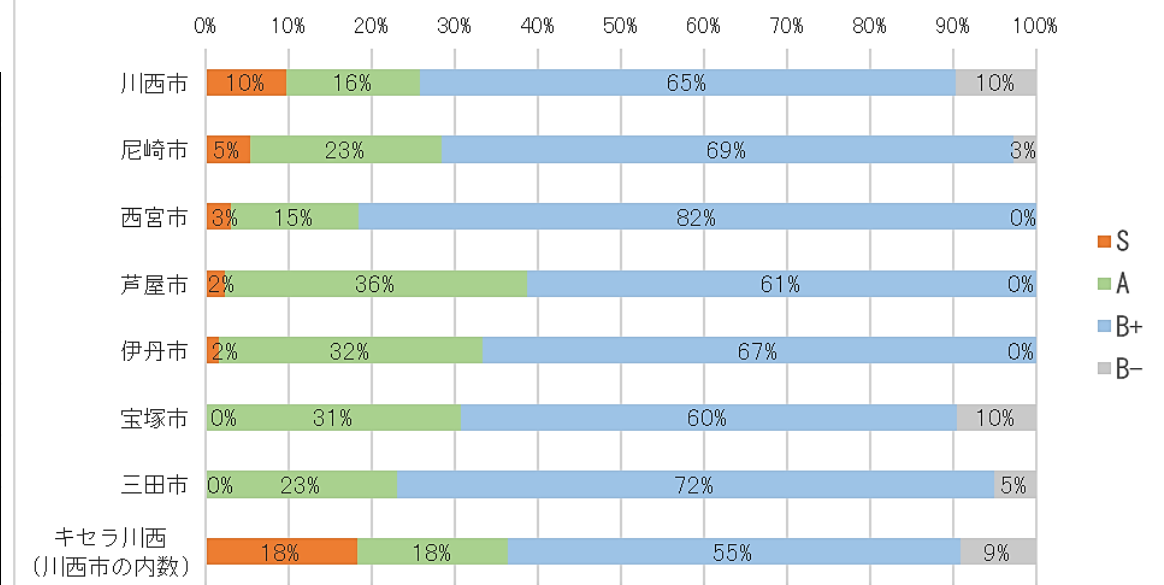
表 CASBEE評価結果一覧

事前協議受付番号	建物名称	延床面積(m ²)	評価結果
H26-8	キコーナ キセラ川西店	12,443	B+
H26-11	キセラ川西オリヴィエ	16,254	S
H28-4	キセラ川西プラザ	11,259	S
H29-3	ウエルハウスキセラ	6,001	B+
H30-2	オアシスタウン キセラ川西	31,615	B+
H30-3	川西市消防本部・南消防署	2,997	A
H30-5	ロイヤルホームセンター キセラ川西店	10,528	B+
R1-1	ネオクレンツ川西	3,338	B-
R2-1	レーベン川西TIEAK RESIDENCE	6,034	B+
R2-2	ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園	3,593	B+
R2-3	川西市立総合医療センター	36,336	A

阪神間特定行政庁 CASBEE届出件数（H26～R3）

	S	A	B+	B-	C	合計（件）
川西市	3	5	20	3	0	31 件
尼崎市	8	34	102	4	0	148 件
西宮市	6	30	160	0	0	196 件
芦屋市	1	16	27	0	0	44 件
伊丹市	1	20	42	0	0	63 件
宝塚市	0	16	31	5	0	52 件
三田市	0	9	28	2	0	39 件
キセラ川西 (川西市の内数)	2	2	6	1	0	11 件

CASBB評価結果の比較（H26～R3）



取り組み				
<p>3-6 表彰制度等の活用（運用基準による誘導）</p> <p>協議項目（低炭素まちづくり分野）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 5%;">(6)</td> <td>モニタリング</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>表彰制度の活用</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みについての情報発信を積極的に行うこと。 ・キセラ川西の「新しいまち」としてのイメージを発信するため、モデル的な取り組みについて、国、兵庫県、その他の関係機関等の表彰制度へ積極的に応募し、その取り組みを市内外へ発信することが望ましいと考えます。 ・運用基準はあくまで行政指導であり、強制力の伴わない誘導策であることから、運用基準を建築主が実現しようとするインセンティブを引き出すことが課題であった。そのため、事業者の自発的な取り組みを期待して、「キセラ川西エコまちラベリング」と「キセラ川西エコまち建築賞」を創設した。 ・これらは、地区内で自主的かつ意欲的にモデルとなる建築行為を行った事業者に対し、その取り組みを評価するとともに、活動を賞することで、地区の低炭素化、景観形成に向けた取り組みの輪の拡大と発信、さらには地区のアイデンティティの醸成を目的としている。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">エコまちラベリング（左）とエコまち建築賞（右）のプレート</p>	(6)	モニタリング	17	表彰制度の活用
(6)	モニタリング			
17	表彰制度の活用			

達成状況〔詳細〕	評価																												
<p>3-6 エコまちラベリング・建築賞の実施件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当課として創設したエコまち建築賞は、定量的な評価だけでなく定性的な取り組み内容をエコまち協議会で評価・選考し、これまでに5回実施し、低炭素まちづくり分野・緑・景観分野で特に顕著な取り組み、特徴的な取り組みが行われた11物件を表彰した。 ・また、表彰制度の活用を積極的に行い、他の賞も受賞に繋がった。 <p>キセラ川西エコまちラベリング〔川西市公園緑地課〕</p> <p>44件（令和4年11月末時点）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>キセラ川西エコまち建築賞〔川西市公園緑地課〕</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>第1回(H28)</td> <td>キセラ川西オリヴィエ</td> <td>キセラコートWAKO</td> <td>大和化学株式会社</td> </tr> <tr> <td>第2回(H29)</td> <td colspan="2">黒木邸</td> <td>キセラハンカチファクトリー</td> </tr> <tr> <td>第3回(R1)</td> <td colspan="3">キセラ川西プラザ</td> </tr> <tr> <td>第4回(R2)</td> <td>オアシスタウンキセラ川西</td> <td colspan="2">川西市消防本部・南消防署</td> </tr> <tr> <td>第5回(R4)</td> <td>川西市立総合医療センター</td> <td>ユニハイム キセラ川西せせらぎ公園</td> <td>あい保育園 キセラ川西</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div> <p>かわにし景観賞〔川西市都市政策課〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>第1回(H30)</td> <td>キセラ川西プラザ（建造物部門）</td> </tr> </table> <p>人間サイズのまちづくり賞〔兵庫県都市政策課〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>第21回(R1)</td> <td>キセラ川西プラザ（まちなみ建築部門 奨励賞）</td> </tr> </table> <p>ガラス防火区画デザイン・コンペ〔パイロシステム株式会社〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>第5回(R1)</td> <td>キセラ川西プラザ（準優勝）</td> </tr> </table> <p>サステナブル建築事例集登録〔一般社団法人日本建設業連合会〕</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>2017年(H29)</td> <td>キセラ川西オリヴィエ</td> </tr> </table>	第1回(H28)	キセラ川西オリヴィエ	キセラコートWAKO	大和化学株式会社	第2回(H29)	黒木邸		キセラハンカチファクトリー	第3回(R1)	キセラ川西プラザ			第4回(R2)	オアシスタウンキセラ川西	川西市消防本部・南消防署		第5回(R4)	川西市立総合医療センター	ユニハイム キセラ川西せせらぎ公園	あい保育園 キセラ川西	第1回(H30)	キセラ川西プラザ（建造物部門）	第21回(R1)	キセラ川西プラザ（まちなみ建築部門 奨励賞）	第5回(R1)	キセラ川西プラザ（準優勝）	2017年(H29)	キセラ川西オリヴィエ	○
第1回(H28)	キセラ川西オリヴィエ	キセラコートWAKO	大和化学株式会社																										
第2回(H29)	黒木邸		キセラハンカチファクトリー																										
第3回(R1)	キセラ川西プラザ																												
第4回(R2)	オアシスタウンキセラ川西	川西市消防本部・南消防署																											
第5回(R4)	川西市立総合医療センター	ユニハイム キセラ川西せせらぎ公園	あい保育園 キセラ川西																										
第1回(H30)	キセラ川西プラザ（建造物部門）																												
第21回(R1)	キセラ川西プラザ（まちなみ建築部門 奨励賞）																												
第5回(R1)	キセラ川西プラザ（準優勝）																												
2017年(H29)	キセラ川西オリヴィエ																												

取り組み

達成状況〔詳細〕

3-7 各戸での省エネ行動の促進（運用基準による誘導）

3-7 日常の中での省エネ行動の取り組み状況

協議項目（モニタリング項目）

(6)	モニタリング
⑦	日常の中での省エネ行動の取り組み状況

キセラ川西エコまち運用基準 フォローアップ アンケート結果(令和3年実施)



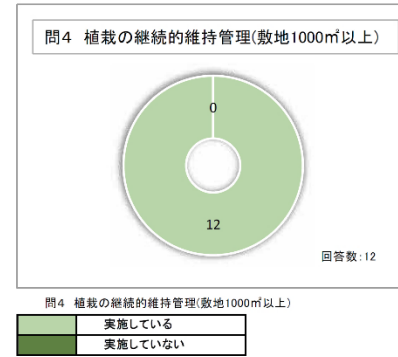
1. キセラ川西エコまち運協基準フォローアップアンケート

(1) エネルギーモニタリング以外の項目の取り組み状況

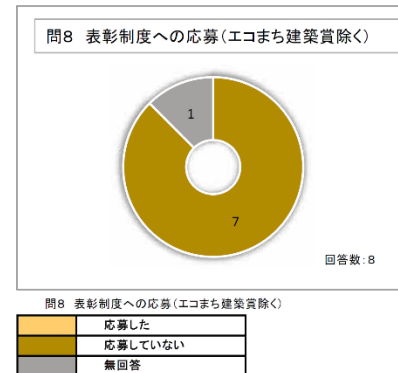
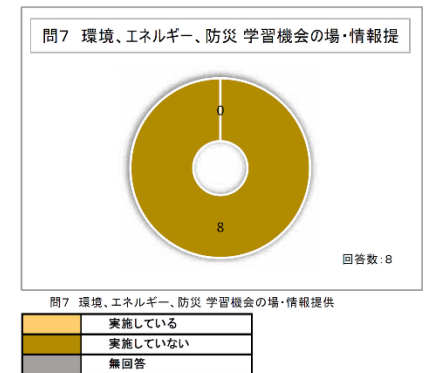
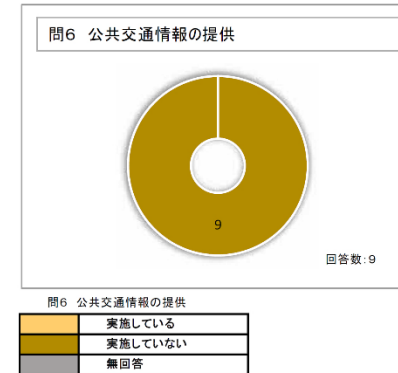
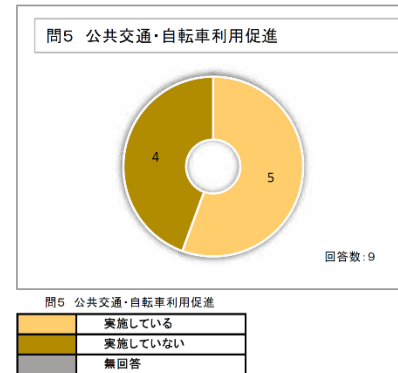
- ・ 建築主を対象に、建物の建築時に協議を行ったまちづくりルール「エコまち運用基準」の建物の利用時の取り組みとして示した基準について、取り組み状況のアンケートを行った。
- ・ 調査概要は、下表のとおり。

「エコまち運用基準」の建物利用時の取り組み状況アンケート調査の概要

項目	概要			
調査概要	・「エコまち運用基準」の建物の利用時の取り組み状況についてのアンケートをエネルギーモニタリング(電気・ガス等の消費量調査)と同時に行った。			
調査対象	・平成26年度以降、条例に基づく事前協議が行われ、令和2年3月までに建築の完了(完了報告及び検査済証)が確認され、令和2年4月から令和3年3月までの間の使用が想定される新築建物			
回答数		回答数	依頼数	回答率
	指定建築物	9	13	69%
	一般建築物	6	34	18%
調査期間	・令和3年5月～6月			
調査内容	・アンケート結果参照			
調査方法	・郵送、または、手渡しにより質問票を配布した。 ・回答は郵送回収			




- 指定建築物、一般建築物
- 1 「キセラ川西低炭素まちづくり」、「脱炭素社会」とも認知度は高い。
 - 2 日常的なみどりの感じ方は、「かなり」75%、「少し」は25%。植栽の維持管理は、回答はすべて「実施している」。



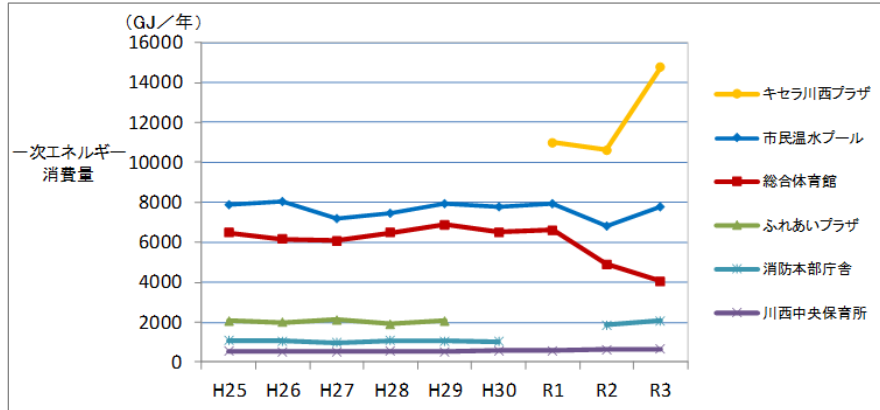
- 指定建築物
- 1 「公共交通・自転車利用促進」は6割強で実施している。
 - 2 「公共交通情報の提供」は実施していない。
 - 3 「環境、エネルギー、防災 学習機会の場・情報提供」は、まだ、行われていない。
 - 4 エコまち建築賞を除く表彰制度への応募は、アンケートに例示した以外はない。

取り組み		達成状況 [詳細]								評価
3-8 環境学習の機会の提供										○
建築分野	環境学習の機会の提供									
みどり分野	中央公園やせせらぎ遊歩道を活用した環境学習の検討									
エネルギー分野	防災・エネルギー学習の機会の提供									
P F I 事業の環境学習 ・キセラ川西地区内で多様な主体(事業者や市民団体)と連携し、キセラ川西せせらぎ公園やせせらぎ遊歩道を活用した環境学習の機会を提供する。 ・継続的な実施と働きかけを通して、各主体が自主的に環境学習の実施に取り組むことを目指す。										
P F I 事業の環境学習関連の実施状況										
		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
段階的な働きかけ		導入期 地域資源活用プログラム 標準的プログラム		普及期 プログラムの定期実施		定着・発展期 複数プログラム実施 活動主体の広がり				
省エネ教室										
公園クイズツアー おひさま実験教室										
しぜんあそび										
キッズりぼん出展										
備考		公園開園	キセラ川西プラザ開館	キセラ丸開館 大規模集客施設開業	保育施設が6園に			総合医療センター開院		
注:網掛けは実施済みを表している。										
環境学習動画作成 ・公園の「防災施設の秘密」、「みどりと自然の秘密」を紹介する動画を作成し、YouTubeに投稿した。										

取り組み		達成状況 [詳細]								評価
3-8 環境学習開催回数・人数 (令和4年11月末時点)										○
・低炭素まちづくりの取り組みを市民に知ってもらう環境学習として、平成28年より毎年2回学習イベントを開催し、延べ26回、412人の参加につながった。 ・継続的な実施と働きかけを通して、各主体が自主的に実施できる体制作りに取り組んだ。										
項目	省エネ教室	項目	公園クイズツアー							
講師	環境カウンセラー	講師	国崎クイ-センター 啓発施設 ゆめほたる							
会場	キセラ川西オリヴィエ 集会室	会場	キセラ川西せせらぎ公園・キセラ川西プラザ							
回数	2回	回数	17回(1日に複数回実施)							
人数	16人(保護者含む)	人数	210人(保護者含む)							
概要	キセラ川西地区近隣の小学生(3年生から6年生)を対象に地球温暖化を防ぐ、省エネルギーの必要性への学習の場とする。	概要	キセラ川西せせらぎ公園、キセラ川西プラザ(低炭素型複合施設)のエネルギー、自然、災害時利用を紹介する「クイズツアー」を行う。							
実施写真		実施写真								
項目	しぜんあそび	項目	キッズりぼん出展							
講師	森のムッレ協会 リーダー	講師	-							
会場	キセラ川西せせらぎ公園	会場	アステ市民プラザ							
回数	6回	回数	1回							
人数	106人(保育士含む)	人数	80人(保護者含む)							
概要	自然や社会に対する親しみや畏敬の念を養い、子ども自身の自然環境や地域社会等に対する感受性を育成するとともに、環境に対する発見・気づきの視点を養う。	概要	キセラ川西のまちづくりを紹介するとともに、手回し発電機によるLEDと白熱電球の比較実験でLED利用による省エネへの気づきの機会とする。							
実施写真		実施写真								

取り組み	達成状況〔詳細〕	評価																												
<p>3-9 公園やせせらぎ遊歩道を活用した環境学習の実施</p> <p>・キセラ川西せせらぎ公園・せせらぎ遊歩道などを活用した環境学習を官民連携により検討します。</p>	<p>3-9 せせらぎ遊歩道を活用した小学校・高校・高齢者大学の校外学習の実施数 (令和4年11月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 回数:6回 延べ人数:220人 整備したせせらぎ水路で、課外授業として取り入れられた。 <p>表 校外学習の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>実施者</th> <th>開催内容</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年8月24日</td> <td>川西市高齢者大学りんどう学園</td> <td>自然学科授業</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>平成30年9月13日</td> <td>川西市高齢者大学りんどう学園</td> <td>自然学科授業</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>平成30年10月10日</td> <td>川西北小学校(3年生)</td> <td>水生生物観察</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月19日</td> <td>猪名川甲英高等学院(2年生)</td> <td>川の水質調査</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月13日</td> <td>猪名川甲英高等学院(2年生)</td> <td>川の水質調査</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>令和4年10月20日</td> <td>猪名川甲英高等学院(2年生)</td> <td>川の水質調査</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>  <p>川西北小学校 水生生物観察の様子</p>	開催日	実施者	開催内容	規模	平成29年8月24日	川西市高齢者大学りんどう学園	自然学科授業	33人	平成30年9月13日	川西市高齢者大学りんどう学園	自然学科授業	50人	平成30年10月10日	川西北小学校(3年生)	水生生物観察	75人	令和3年10月19日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	20人	令和4年10月13日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	21人	令和4年10月20日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	21人	<p>○</p>
開催日	実施者	開催内容	規模																											
平成29年8月24日	川西市高齢者大学りんどう学園	自然学科授業	33人																											
平成30年9月13日	川西市高齢者大学りんどう学園	自然学科授業	50人																											
平成30年10月10日	川西北小学校(3年生)	水生生物観察	75人																											
令和3年10月19日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	20人																											
令和4年10月13日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	21人																											
令和4年10月20日	猪名川甲英高等学院(2年生)	川の水質調査	21人																											

取り組み
<p>3-10 既存建築物の低炭素化</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存建築物の低炭素化のための情報提供等の支援を行うとともに、既存公共施設については、低炭素化に向けて取り組みます。 市公共施設については、温室効果ガス排出抑制の措置のため「川西市環境率先行動計画」に基づき、エネルギー別消費量の把握が行われている。

達成状況〔詳細〕	評価
<p>3-10 キセラ川西地区内の公共施設のエネルギー消費量</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存施設への高効率の機器への交換については、一部、LED照明への交換がみられたが、一次エネルギー消費量は概ね横ばい傾向を示している。設備機器の更新期間は長く、一次エネルギー消費量の削減を図るには長期的な視点が必要である。 新型コロナウイルス感染症対策の影響により、令和元年から施設の運営状況が異なっている。具体的には、総合体育館はワクチン接種会場として使用され、通常使用を制限したことにより、施設の稼働率が大きく低下したため、一次エネルギー消費量も同じく低下したと考えられる。 また、キセラ川西プラザは、新型コロナウイルス感染症対策のため換気を行いながら空調を動かしたことや、ホールや会議室の稼働率が上がったため、一次エネルギー消費量が増加したと考えられる。今後、BEMS(ビルエネルギー管理システム)を用い、データを分析し、共用部分、ホールについては指定管理者が適切に管理運営、入居団体に対しては、最適な運用方法を提案し、削減に取り組むことを望む。  <p>注1 ふれあいプラザはH29年度まで。キセラ川西プラザはR1年度からの値である。 注2 消防本部庁舎は、R2年1月に新庁舎に移転している。R2年度以降は南消防署との合同庁舎の値である。</p> <p>図 市公共施設の一次エネルギー消費量の年度推移</p>	<p>△</p>

【参考】川西市環境率先行動計画

目的	市が一事業者・一消費者としての立場から、市の事務及び事業に関し、設定した目標に向かって、環境保全のため行動計画を自ら率先して実行し環境負荷の低減を図り、また、温室効果ガス排出抑制等の措置により、地球温暖化対策の推進を図ります。また、そのことにより、市民・事業者の自主的な取り組みの促進に資することを目的とします。
基準年度と期間	[第4次川西市環境率先行動計画] 基準年度：2014年度（基準排出量：10,812 t-CO ₂ ） 計画期間：2015年度から2019年度 削減目標：基準排出量に対して2019年度に8%削減
対象	市のすべての事務・事業及び施設
温室効果ガスの種類	エネルギー起源の二酸化酸素のみ

【参考】第4次川西市環境率先行動計画の結果（出典：川西市環境率先行動計画）

- 2019年度の温室効果ガス排出量は10,063t-CO₂となり、2014年度の10,812t-CO₂に対して約6.9%の削減となりました。2016年度は街灯のLED化により温室効果ガスの排出が大きく減少しています。その後、一時学校の空調設備設置により増加に転じましたが、横ばいが続いております。

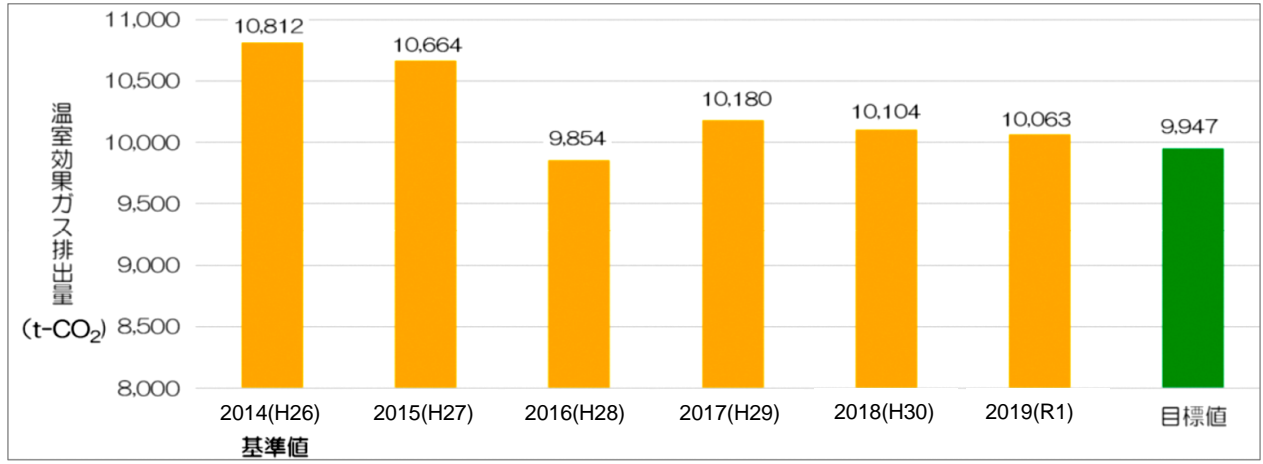


図 温室効果ガス排出量の推移

取り組み

達成状況[詳細]

評価

4-2 運用基準に定める間口緑視率 (%) および緑地を設ける (運用基準による誘導)

4-2 緑化モニタリング (間口緑視率) (令和4年5月末時点)

○

協議項目 (緑・景観分野)

(5)	緑地
15	間口緑視率

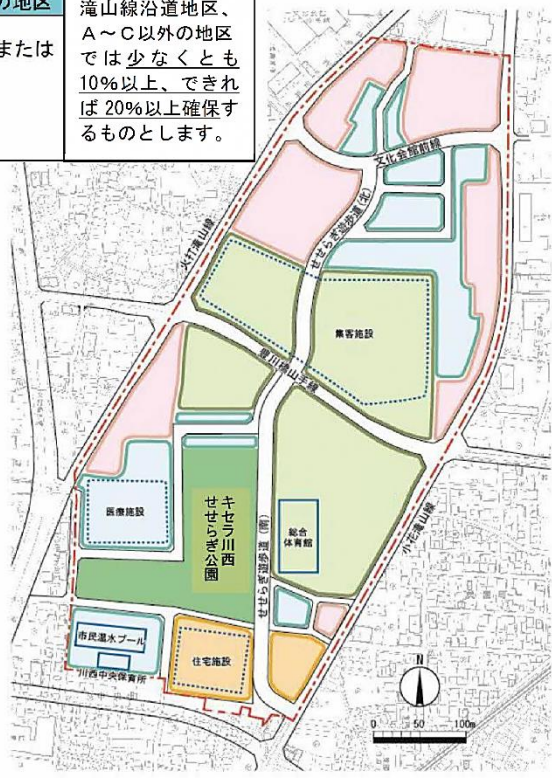
- 事前協議を基に、間口緑視率を位置図に落とし込み、適合状況を表にし、敷地面積と間口緑視率との関係を示した。
- 間口緑視率状況図に示す通り、せせらぎ遊歩道及び豊川橋山手線の沿道の誘導ができた。
- 敷地面積と間口緑視率との関係で示す通り、小規模な敷地の達成は困難であった。
- 適合状況は、A・B地区の方が厳しい数値を設定したが適合割合は高くなった。

モニタリング事項	概要
<p>■ 間口緑視率 『キセラ川西エコまち運用基準』に規定する間口緑視率の定量基準 (右側に記載)の達成を目指す。</p>	<p>・調査方法 1. 事前協議資料 (植栽計画) に基づき算定し、間口緑視率を位置図に示す。 2. 現地踏査により植栽状況を確認する。</p> <p>・頻度 毎年1回 (新築建物の植栽を確認し追加する。)</p>

間口緑視率の定量基準 対象区分

<p>A: 豊川橋山手線・せせらぎ遊歩道沿道地区</p>	<p>B: せせらぎ遊歩道ゲート地区</p>	<p>アメニティ軸・ふれあい軸に接する豊川橋山手線・せせらぎ遊歩道沿道地区、せせらぎ遊歩道ゲート地区についてはより手厚い緑化を行うべく、間口緑視率 (%) を少なくとも15%以上、できれば30%以上確保するものとします。</p>
<p>15-1 間口緑視率 (%) をアまたはイの数値以上確保する。 ア: 30%以上確保する。 イ: 15%以上確保する。</p>		

<p>C: 火打滝山線・小花滝山線沿道地区</p>	<p>D: A~C以外の地区</p>	<p>火打滝山線・小花滝山線沿道地区、A~C以外の地区では少なくとも10%以上、できれば20%以上確保するものとします。</p>
<p>15-2 間口緑視率 (%) をアまたはイの数値以上確保する。 ア: 20%以上確保する。 イ: 10%以上確保する。</p>		



出典 「キセラ川西エコまち運用基準」2017年版 より作成

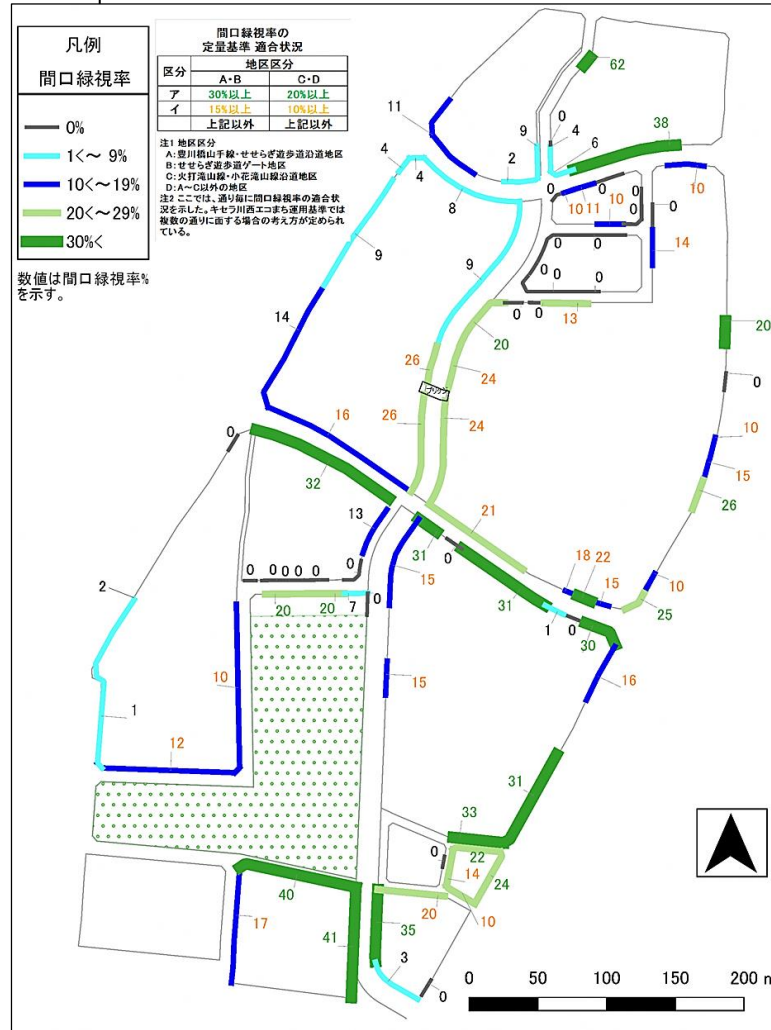


図 間口緑視率状況図

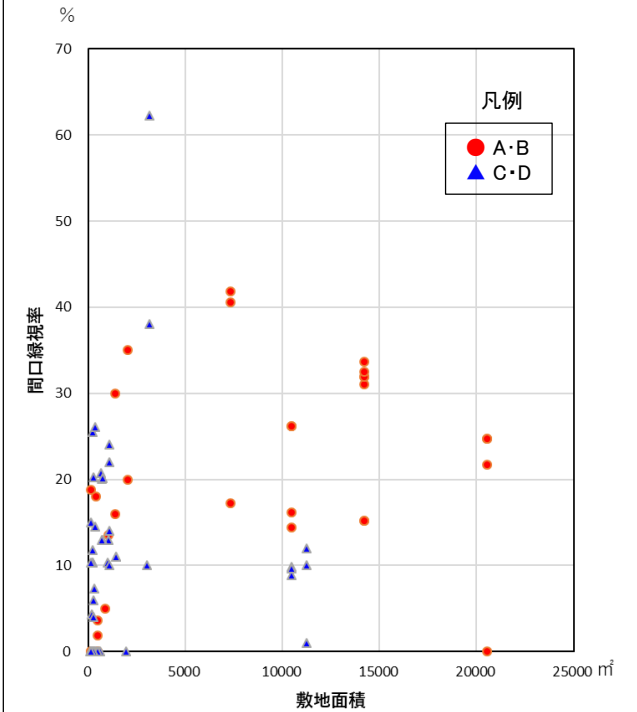


図 敷地面積と間口緑視率との関係

表 間口緑視率の定量基準 適合状況

地区区分	協議数	適合件数	適合割合
A・B	15	8	53%
C・D	46	19	41%
計	61	27	44%

取り組み

達成状況〔詳細〕

評価

4-3 緑地面積（運用基準による誘導）

4-3 緑地面積（令和4年11月末時点）

○

協議項目（緑・景観分野）

- ・緑地率を表に示す。
- ・敷地面積が大きな物件は緑視率が5%以上となる傾向が高かったが、小規模な物件は難しかった。
- ・「敷地面積と緑視率の関係」が示すとおり、敷地面積に対して緑地率が高いわけではなく、建物用途によつてばらつきがある傾向がわかった。具体的には、分譲マンションや大規模な商業施設、公共施設は高い傾向がうかがえた。

(5)	緑地
15-3	敷地面積1,000㎡未満の戸建住宅を除く用途の建築物においては、敷地面積に対する緑地率5%以上を確保する。

- ・緑地の面積については、「川西市開発指導要綱における緑地の誘導基準」に即して、確認するものとします。
- ・敷地面積が1,000㎡以上の建築物については、別途「環境の保全と創造に関する条例」における緑地の誘導基準の基準を遵守する必要があります。

表 緑地率

緑地率5%以上

事前協議受付番号	敷地面積(㎡)	緑地面積(㎡)	緑地率(%)
H26-6	640	33	5%
H26-8	10,472	892	8%
H26-11	7,308	1,120	15%
H27-1	251	18	7%
H27-4	334	23	6%
H28-3	315	20	6%
H28-4	14,184	2,833	19%
H29-3	2,005	205	10%
H30-1	1,408	90	6%
H30-2	20,552	2,590	12%
H30-5	10,454	740	7%
H30-6	3,150	632	20%
H30-7	1,943	416	21%
R1-1	834	47	5%
R1-3	354	18	5%
R2-1	1,362	115	8%
R2-2	1,068	94	8%
R2-3	11,250	3,015	26%
R2-5	1,015	91	8%
R3-3	710	40	5%

緑地率5%未満

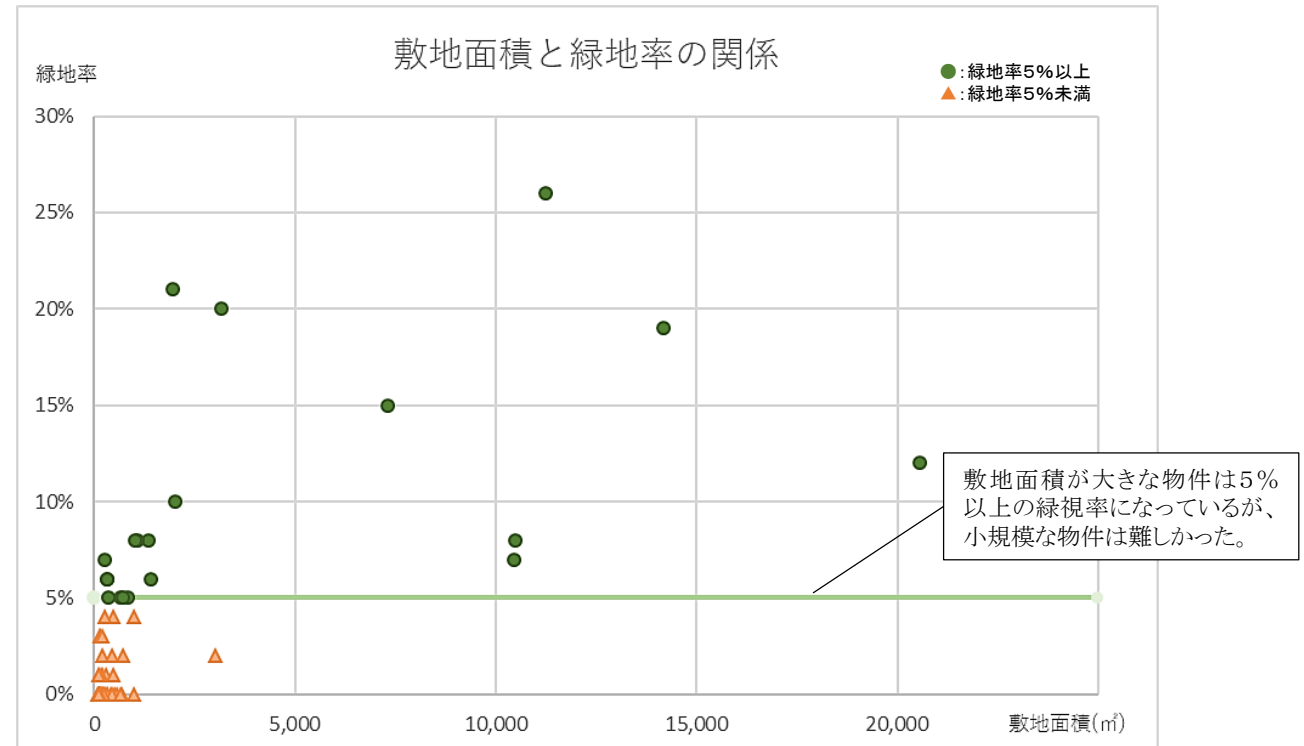
事前協議受付番号	敷地面積(㎡)	緑地面積(㎡)	緑地率(%)
H26-1	684	7	0%
H26-3	116	1	0%
H26-4	188	2	1%
H26-5	1,000	7	0%
H27-7	80	0	0%
H26-10	247	1	0%
H26-12	125	4	3%
H26-13	147	5	3%
H26-15	299	3	1%
H27-2	140	0	0%
H27-3	200	0	0%
H27-5	425	0	0%
H27-8	700	14	2%
H27-9	181	3	1%
H27-10	257	0	0%
H27-11	306	0	0%
H27-12	148	0	0%
H27-13	148	0	0%
H27-14	213	6	2%
H27-15	329	0	0%
H28-2	497	0	0%
H28-5	113	0	0%
H28-6	100	2	1%
H29-1	571	0	0%
H29-2	198	0	0%
H29-4	449	0	0%
H29-5	200	0	0%
H29-6	166	0	0%
H29-7	462	23	4%
H30-3	2,999	71	2%
H30-4	231	0	0%
H30-9	117	0	0%
H30-10	117	1	1%
H30-11	200	7	3%
H30-12	449	10	2%
H30-13	470	7	1%
R1-2	982	49	4%
R2-4	120	0	0%
R3-1	154	0	0%
R3-2	264	13	4%
R3-4	100	0	0%
R3-5	664	0	0%
R3-6	513	23	4%
R3-7	447	12	2%
R4-1	116	0	0%

協議対象

敷地面積が1,000㎡以上	対象外
戸建住宅	対象外
敷地面積が1,000㎡未満 (戸建住宅を除く)	対象

■:協議対象外

敷地面積と緑地率の関係



取り組み

達成状況〔詳細〕

評価

4-4 高木による二酸化炭素固定・吸収量の算出

4-4 高木による二酸化炭素固定・吸収量の算出 (令和4年5月末時点)

○

低炭素効果	概要
<p>■ 高木による二酸化炭素の固定・吸収量の算出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調査方法 二酸化炭素吸収効果は、現地踏査による高木の植栽の把握から算定する。(国土交通省基準) 頻度 毎年1回

・「低炭素まちづくり計画作成マニュアル」(平成24年、国土交通省・環境省・経済産業省)に基づき、高木による二酸化炭素の固定・吸収量の低炭素効果を把握した。

調査方法

- CO₂吸収量は、「低炭素まちづくり実践ハンドブック」(平成25年、国土交通省)に基づき、高木(将来樹高3m以上で管理される樹木)の本数より算定した。対象高木は、既存並びに新規植栽の高木とした。
- 地区内を踏査し、植栽計画に基づく高木植栽状況の確認並びに生息する高木の目視による確認・記録により、キセラ川西地区の高木本数を数えた。
- 高木の植栽によるCO₂吸収量の算定方法は表のとおりである。

表 植栽によるCO₂吸収量の算定方法

対象	算定方法
高木 (樹高3m以上)	<ul style="list-style-type: none"> 高木本数とCO₂吸収係数から算定 吸収係数は、0.0385 t-CO₂/本・年

- 平成26年度以降に植えられた高木本数:1,038本(CO₂吸収量:40.0t-CO₂/年)
- 高木の植栽状況に示す通り、キセラ川西せせらぎ公園及びせせらぎ遊歩道、豊川橋山手線沿道を中心に高木が植えられた。

高木植栽によるCO₂吸収量(速報)

令和4年6月時点

ゾーン区分	高木(本)					CO ₂ 吸収量(t-CO ₂ /年)				
	既存	新規			合計	既存	新規			合計
		H26~R3	R4	計			H26~R3	R4	計	
産業・業務	2	39	0	39	41	0.1	1.5	0.0	1.5	1.6
集客	0	163	5	168	168	0.0	6.3	0.2	6.5	6.5
生活	2	56	30	86	88	0.1	2.2	1.2	3.3	3.4
公益	39	549	20	569	608	1.5	21.1	0.8	21.9	23.4
住宅	1	176	0	176	177	0.0	6.8	0.0	6.8	6.8
合計	44	983	55	1038	1082	1.7	37.8	2.1	40.0	41.7

[CO₂吸収量] = 0.0385t-CO₂/本・年 × 高木本数

※日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2013)の高木当たりの年間バイオマス成長量

注1 既存は、低炭素まちづくり計画以前に植えられた高木で、調査時に確認されるものを示す。

注2 四捨五入により集計が合わないことがある。

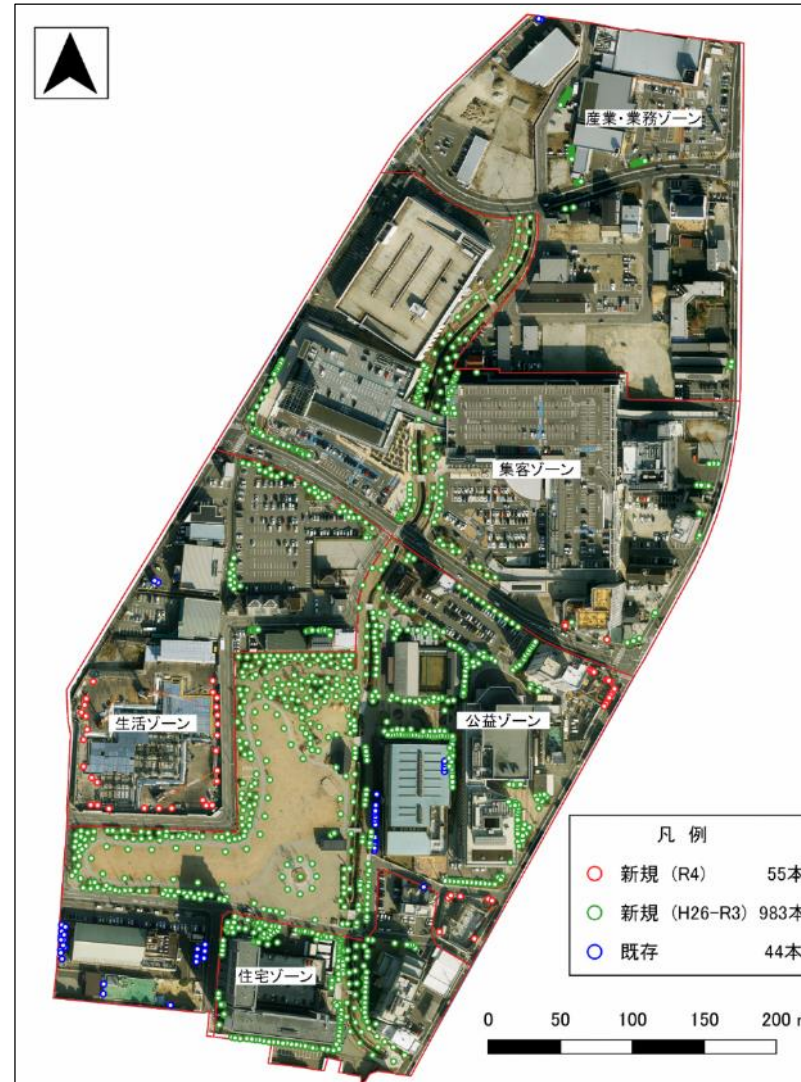


図 高木の植栽状況(速報)

取り組み

達成状況〔詳細〕

評価

4-6 キセラ川西のロゴマークの設置（運用基準による誘導）

4-6 キセラ川西のロゴマーク設置個所数（令和4年11月末時点）

△

協議項目（緑・景観分野）

・自社以外の「ロゴマーク」を自費で設置することはハードルが高い中、5物件について、サインにロゴマークを入れていただいた。まちなかにキセラ川西のロゴマークを設置いただくことで、アイデンティティの醸成を図れた。

(6)	屋外広告物
20	キセラ川西のロゴマークの利用

事前協議受付番号	建物名称	用途
H27-2	ワークランドオートワン	店舗
H30-3	川西市消防本部・南消防署	消防署
H30-8	モスバーガー キセラ川西店	店舗
R1-2	あい保育園 キセラ川西	保育施設
R2-3	川西市立総合医療センター	医療施設

・サインについては、「キセラ川西」のロゴマークを使用しながら、地区のアイデンティティの醸成を図る。

【参考】商標登録

・「キセラ川西」を育て、守り、安心してこのイメージを使い続けていくため、また民間事業者にも広く利用してもらうため、「キセラ川西のロゴマーク」を商標登録した。



図 商標登録



取り組み	達成状況〔詳細〕	評価																																																		
<p>4-7 店舗名等に「キセラ川西」の名称を用いる（運用基準による誘導）</p> <p>協議項目（緑・景観分野）</p> <table border="1" data-bbox="150 258 997 368"> <tr> <td>(6)</td> <td>屋外広告物</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>キセラ川西の名称の利用</td> </tr> </table>	(6)	屋外広告物	20	キセラ川西の名称の利用	<p>4-7 「キセラ川西」の名称の利用数（令和4年11月末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗名等に「キセラ川西」の名称を使用いただき、「キセラ川西」の名称の普及に貢献し、また、定着したものになった。 4-6 ロゴマークの設置には一定の金額がかかり誘導が難しかったが、名称の使用は多くの企業に協力いただけた。 官民が使用することで、CMや広告など、繰り返し「キセラ川西」の名称がPRされ、地区名称の普及につながっている。 <p>公共施設・福祉施設等</p> <table border="1" data-bbox="1327 520 2521 798"> <thead> <tr> <th>事前協議受付番号</th> <th>建物名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28-4</td> <td>キセラ川西プラザ</td> </tr> <tr> <td>H29-3</td> <td>ウエルハウスキセラ（ちびっこ保育園キセラ）</td> </tr> <tr> <td>R1-2</td> <td>あい保育園 キセラ川西</td> </tr> <tr> <td>R2-5</td> <td>キセラ川西腎クリニック</td> </tr> </tbody> </table> <p>共同住宅</p> <table border="1" data-bbox="1327 854 2521 1463"> <thead> <tr> <th>事前協議受付番号</th> <th>建物名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26-11</td> <td>キセラ川西オリヴィエ（キセラ川西ハートフル薬局）</td> </tr> <tr> <td>H27-1</td> <td>キセラコートWAKO</td> </tr> <tr> <td>H27-10、R3-2</td> <td>グラン・ジュテ キセラ川西、グラン・ジュテ キセラ川西Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>H29-2</td> <td>キセラコード1</td> </tr> <tr> <td>H29-5、H29-7</td> <td>ONLY ONEキセラ川西武番館、ONLY ONEキセラ川西壱番館</td> </tr> <tr> <td>H30-4、H30-12</td> <td>ラ・フォート キセラⅠ、ラ・フォート キセラⅡ</td> </tr> <tr> <td>H30-13</td> <td>グローリーキセラ（アルエ キセラ川西店）</td> </tr> <tr> <td>R1-3</td> <td>シェノンキセラ川西</td> </tr> <tr> <td>R2-2</td> <td>ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園</td> </tr> <tr> <td>R3-3</td> <td>best house KISERA</td> </tr> </tbody> </table> <p>店舗</p> <table border="1" data-bbox="1327 1520 2521 1907"> <thead> <tr> <th>事前協議受付番号</th> <th>建物名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26-8</td> <td>キコーナ キセラ川西店</td> </tr> <tr> <td>H30-2</td> <td>オアシスタウン キセラ川西（阪急オアシス キセラ川西店他）</td> </tr> <tr> <td>H30-5</td> <td>ロイヤルホームセンター キセラ川西店</td> </tr> <tr> <td>H30-6</td> <td>ツルハドラッグ キセラ川西店</td> </tr> <tr> <td>H30-8</td> <td>モスバーガー キセラ川西店</td> </tr> <tr> <td>R4-1</td> <td>タケシタ調剤薬局 キセラ川西店</td> </tr> </tbody> </table>	事前協議受付番号	建物名称	H28-4	キセラ川西プラザ	H29-3	ウエルハウスキセラ（ちびっこ保育園キセラ）	R1-2	あい保育園 キセラ川西	R2-5	キセラ川西腎クリニック	事前協議受付番号	建物名称	H26-11	キセラ川西オリヴィエ（キセラ川西ハートフル薬局）	H27-1	キセラコートWAKO	H27-10、R3-2	グラン・ジュテ キセラ川西、グラン・ジュテ キセラ川西Ⅱ	H29-2	キセラコード1	H29-5、H29-7	ONLY ONEキセラ川西武番館、ONLY ONEキセラ川西壱番館	H30-4、H30-12	ラ・フォート キセラⅠ、ラ・フォート キセラⅡ	H30-13	グローリーキセラ（アルエ キセラ川西店）	R1-3	シェノンキセラ川西	R2-2	ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園	R3-3	best house KISERA	事前協議受付番号	建物名称	H26-8	キコーナ キセラ川西店	H30-2	オアシスタウン キセラ川西（阪急オアシス キセラ川西店他）	H30-5	ロイヤルホームセンター キセラ川西店	H30-6	ツルハドラッグ キセラ川西店	H30-8	モスバーガー キセラ川西店	R4-1	タケシタ調剤薬局 キセラ川西店	<p>○</p>
(6)	屋外広告物																																																			
20	キセラ川西の名称の利用																																																			
事前協議受付番号	建物名称																																																			
H28-4	キセラ川西プラザ																																																			
H29-3	ウエルハウスキセラ（ちびっこ保育園キセラ）																																																			
R1-2	あい保育園 キセラ川西																																																			
R2-5	キセラ川西腎クリニック																																																			
事前協議受付番号	建物名称																																																			
H26-11	キセラ川西オリヴィエ（キセラ川西ハートフル薬局）																																																			
H27-1	キセラコートWAKO																																																			
H27-10、R3-2	グラン・ジュテ キセラ川西、グラン・ジュテ キセラ川西Ⅱ																																																			
H29-2	キセラコード1																																																			
H29-5、H29-7	ONLY ONEキセラ川西武番館、ONLY ONEキセラ川西壱番館																																																			
H30-4、H30-12	ラ・フォート キセラⅠ、ラ・フォート キセラⅡ																																																			
H30-13	グローリーキセラ（アルエ キセラ川西店）																																																			
R1-3	シェノンキセラ川西																																																			
R2-2	ユニハイムキセラ川西せせらぎ公園																																																			
R3-3	best house KISERA																																																			
事前協議受付番号	建物名称																																																			
H26-8	キコーナ キセラ川西店																																																			
H30-2	オアシスタウン キセラ川西（阪急オアシス キセラ川西店他）																																																			
H30-5	ロイヤルホームセンター キセラ川西店																																																			
H30-6	ツルハドラッグ キセラ川西店																																																			
H30-8	モスバーガー キセラ川西店																																																			
R4-1	タケシタ調剤薬局 キセラ川西店																																																			

取り組み

達成状況[詳細]

評価

4-8 市民参加による公園の整備・維持管理

4-8 公園におけるみどりに関する活動と参加状況

○

・キセラ川西せせらぎ公園を整備するにあたり、従来型の行政による縦割りの整備を行うのではなく、市民による市民のための市民が愛着を持つ公共空間の実現を目指し、設計・施工・維持管理の各ステージにおける市民参加をシームレス、かつ、積極的に展開してきた。

・市民参加については、公園などの公共空間を市民が自分の庭として愛着を持ち、居心地よいと思える場所にするための取り組みとして、「公共空間を市民がつくる」という意味で力を入れて進めてきており、平成23年度の「せせらぎ遊歩道設計WS」を皮切りに、継続的にワークショップを展開しており、延べ95回、約2,320人の開催実績(令和4年11月末時点)となっている。
 ・市民のアイデアから行政、住民、専門家などが連携した、市民主体のまちづくりの基礎が築かれている。

ワークショップ名	平成24年度以前	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度以降
せせらぎ遊歩道設計WS	平成23年度ワークショップ9回実施 市長報告会	せせらぎ遊歩道を対象とした「使う側」の視点にたった整備計画の策定							
中央公園設計WS		ワークショップ4回実施 市長報告会		中央公園を対象とした「使う側」の視点にたった整備計画の策定					
使い方・維持管理WS			ワークショップ3回実施		中央公園及びせせらぎ遊歩道の一体的な活用及び管理・運営方法の検討				
活動プログラムWS	市民の施設への愛着心の醸成と、豊かなパブリックライフの実現をめざして、市民が主体的かつ継続的に活動するグループの形成及び活動プログラム作りの支援			ワークショップ8回実施					
ホタル復活プロジェクトWS	せせらぎ水路の生物多様性や自然環境の学習を通して、ホタルの乱舞をめざす活動グループの形成及び取組みの支援			ワークショップ6回実施		グループ活動7回実施 (H29 4回 H30 2回 R1 1回)			自主的な活動
施工WS				市民が携える工事を施工する		芝張り体験3回実施			
キセラ・カフェ				公園で活動等をする市民の交流や情報共有を行うラットホーム		20回実施 (H29 6回 番外編 1回 H30 5回 番外編 1回 R1 5回 番外編 2回)			2か月ごとに開催
公園管理棟設計・施工WS				市民参加での設計・施工により、シビックプライドの醸成を図る		設計WS 4回実施 施工WS 5回実施 お披露目会 実施			
市民花壇制作ワークショップ				花を通じて、公園での市民活動の輪の広がりを図る		ワークショップ13回実施 リースづくり1回実施			自主的な活動
プレーパークグループ活動	キセラ川西せせらぎ公園(里庭エリア)でのプレーパーク活動の運営		講座3回実施		グループ活動31回実施 (H27 8回 H28 11回 H29 12回)		グループ活動原則第4日曜		継続的な展開
単発WS等	参加者にキセラ川西を知ってもらい、愛着を持ってもらうとともに、将来の市民活動への関心を高める		小学生ポスター募集		小学生ポスター設置WS		オープニングセレモニー、記念植樹イベント		
移植プロジェクト	黒川地区から樹木を移植することにより、市域北部と南部を連携させることにより付加価値の向上を図る		移植樹木調査・決定、根回し作業(2回)・養生移植作業		移植イベント3回実施				

図 市民ワークショップの実績



中央公園設計WS (H25・26年度)



中央公園・せせらぎ遊歩道使い方・維持管理WS (H26年度)



活動プログラムWS (H27・28年度)



ホタル復活プロジェクトWS (H27年度～)



芝張りWS (H29年度)



広く自由に話し合う場「キセラ・カフェ」(H29年度～)

取り組み

達成状況[詳細]

評価

4-8 市民参加による公園の整備・維持管理

4-8 公園におけるみどりに関する活動と参加状況

○

メンテナンスイベント（市民参加による維持管理）

- ・メンテナンスイベントは、公園を美しく育てるためのメンテナンス（維持管理）について、学び・考える第一歩として、キセラ・カフェの参加者からのアイデアで企画され、今までに8回実施された。
- ・また、第3回以降は地区内の事業者が集まり、キセラ川西地区内の道路清掃なども行われている。事業者からは物品の提供もあった。

	第1回年末 大そうじ選手権	第6回 キセラ・カフェ	第2回年末 大そうじ選手権	第3回 大そうじ選手権
開催日	平成29年12月23日	平成30年3月24日	平成30年12月22日	令和元年7月13日
参加人数	16名	27名	45名	約60名+50名
概要	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き	メンテナンスイベント お花見キセラ・カフェ	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き	公園の植栽解説 ゴミ拾い 草引き
	第4回 大そうじ選手権	第5回 大そうじ選手権	第6回 大そうじ選手権	第7回 大そうじ選手権
開催日	令和元年12月7日	令和2年12月12日	令和3年12月11日	令和4年7月9日
参加人数	45名	66名	約100名	約100名
概要	除草作業 拾い掃き	除草作業 拾い掃き	除草作業 拾い掃き	除草作業 拾い掃き



メンテナンスイベントの様子

取り組み

達成状況[詳細]

4-8 【参考】キセラ川西せせらぎ公園 効果検証アンケート

- ・キセラ川西せせらぎ公園が平成29年に開園して5年が経ち、利用者にとって、この公園がどう捉えられているか、これまでに振り返り、今後のよりよい公園の在り方を検討するために、アンケート調査を実施した。
- ・実施期間: 令和4年8月～11月
- ・一般用アンケート回答者(公園利用者や近隣住民など): 353人

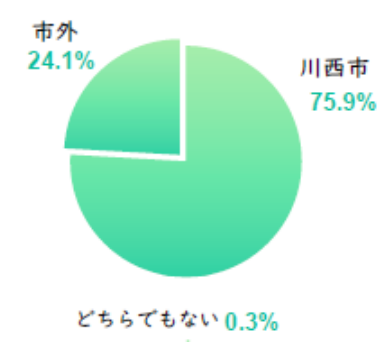
第9回 みどり部会(令和4年12月14日)資料2より 効果検証アンケート 結果まとめ【抜粋】

一般用アンケート回答者について

公園利用者や近隣住民などを対象に、**353**人の方にご協力いただきました!

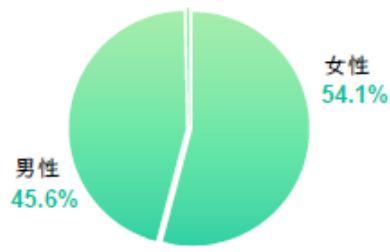
01 居住地

回答者全体について、市内、市外の割合は約3:1でした
また、「川西市」在住の約40%がキセラ・能勢口周辺にお住まいの方でした



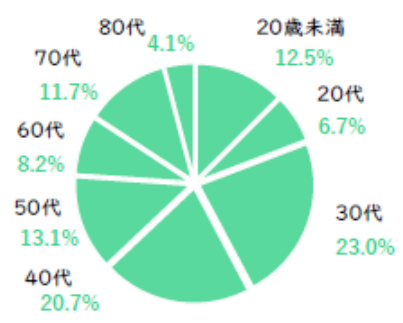
02 性別

「女性」「男性」については、ほぼ同じ割合で回答いただくことができました



03 年齢

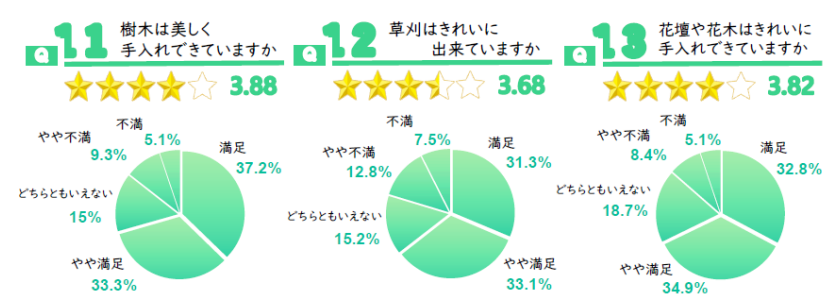
様々な年齢層から満遍なく回答いただきましたが、特に「30～40代」の割合が多いことがわかります



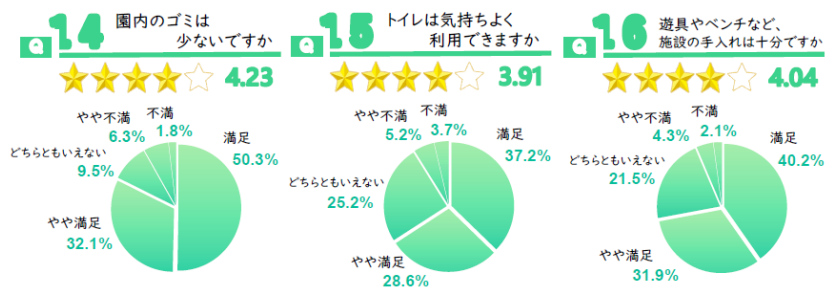
満足度について

「植栽管理」「施設管理」「サービス」「総合」の 카테고리について、10項目を5段階で満足度を尋ねました
〔1. 不満 / 2. やや不満 / 3. どちらともいえない / 4. やや満足 / 5. 満足〕

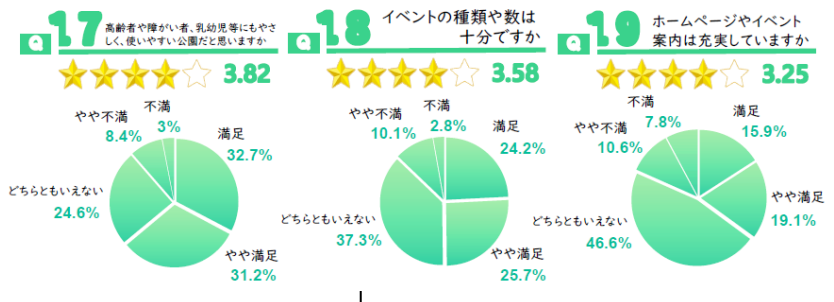
植栽管理



施設管理

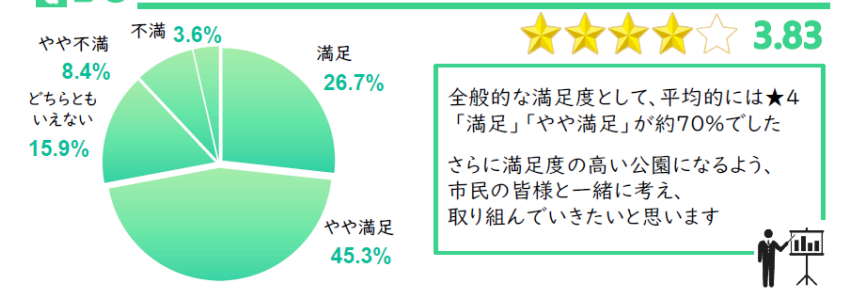


サービス



20

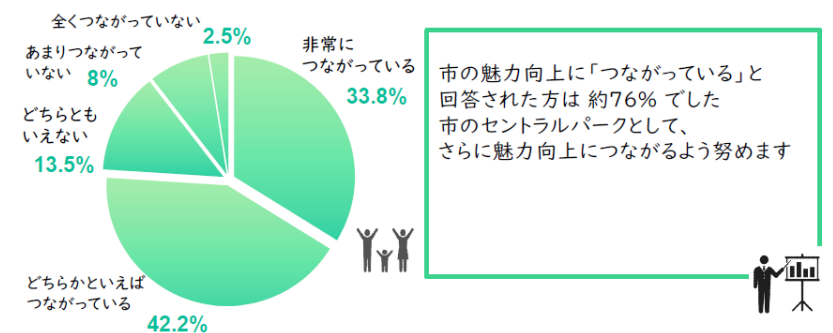
全般的な満足度を教えてください



全般的な満足度として、平均的には★4「満足」「やや満足」が約70%でした
さらに満足度の高い公園になるよう、市民の皆様と一緒に考え、取り組んでいきたいと思います

公園への全般的な評価・ご意見について

「キセラ川西せせらぎ公園」が、川西市の魅力向上につながっていると思いますか



市の魅力向上に「つながっている」と回答された方は約76%でした
市のセントラルパークとして、さらに魅力向上につながるよう努めます

取り組み

達成状況[詳細](案)

評価

5-2 全てのゾーンに再生可能エネルギーを導入する(運用基準による誘導)

5-2 再生可能エネルギーの導入量(令和4年11月末時点)

○

協議項目(低炭素まちづくり分野)

- 運用基準で新築時に太陽光発電施設など再生可能エネルギーの導入を促し、全てのゾーンにふさわしい導入事例を実施し、モデル的な達成をした。
- 設置コストが掛かるため難しくもあったが、戸建住宅や公共施設、さらには単身者向け賃貸住宅や保育施設及び既存建物にも設置いただいた。

(1)	エネルギー
3	再生可能エネルギーの導入

- 地球環境に対して負荷の少ないエネルギーの活用および「新しいまち」のイメージを発信するため、再生可能エネルギー等の面的な導入に貢献することが求められます。

導入状況	ア:太陽光発電を概ね合計3kW以上を設置	凡例	件数
			15
調査方法	イ:太陽光発電を概ね合計3kW未満を設置(ソーラー電池式 街灯など)	凡例	件数
			9
事前協議を基に、現地調査			

キセラ川西地区内の太陽光発電(設備容量が3kWh以上の状況)

No.	設備容量 kW	パネル面積 ^{※1} m ²	推定年間発電量 ^{※2} kWh/年	備考	単位面積の設備容量 kWh/m ²
1		24	4,297 ^{※3}		
2	15	80	15,000		0.19
3	20	125	20,000		0.16
4	5	34	5,000		0.15
5		52	9,310 ^{※3}		
6		32	5,729 ^{※3}		
7		32	5,729 ^{※3}		
8		24	4,297 ^{※3}		
9		23	4,118 ^{※3}		
10		27	4,834 ^{※3}		
11		30	5,371 ^{※3}		
12		175	31,332 ^{※3}	既存建物	
13	10	52	10,000		0.19
14		55	9,847 ^{※3}	既存建物	
15	5	24	5,000		0.21
合計			139,865		

※1 太陽光発電パネルの面積は、航空写真の設備面積を計測して求めた。
 ※2 推定年間発電量は次のように算定した。
 ・設備容量を把握している建物:設備容量(kW)×1000(kWh/kW) / 式は太陽光発電協会による
 ※3 ・パネル面積を計測した建物:パネル面積(m²)×[単位面積の設備容量平均値0.18](kW/m²)×1000(kWh/kW)
 推定年間発電量の算出は端数処理をしており、パネル面積と単位面積の設備容量平均値の積の値と一致しないことがある。



再生可能エネルギーの導入状況

